

Piano

ホームプロジェクタ

HE-3200

取扱説明書

PLUS

準備と予備知識

設置と投映

ふだんの操作

調整と設定

その他

このたびはPLUSホームプロジェクタをお買いあげいただきありがとうございました。

ご使用の前に、本機の機能を十分生かしてご利用いただくために、この「取扱説明書」を最後までお読みください。

お読みになったあとは、「保証書」とともに、いつでも見られる所に大切に保存してください。万一、ご使用中にわからないことや不具合が生じたときには、この「取扱説明書」をお読みください。

主な特長

高画質

米国テキサス・インスツルメンツ社が開発したDLP™（デジタル・ライト・プロセッシング）方式によるDMD™（デジタル・マイクロミラー・デバイス）チップを採用することにより、ハイコントラストを実現し、高精細な画像が得られます。

- DLP™方式の採用により、素子の応答速度が速いことから、動画特性に優れており、滑らかな画像を実現します。
- 高性能プログレッシブスキャンコンバーターを搭載することにより、フィルムライクな映像を再現します。
- 高純度カラーフィルターを搭載することにより、いきいきとしたカラー画像を再現します。

静音設計

当社独自の静音設計により、大幅にファンノイズの低減を実現し、室内環境での映画鑑賞を妨げない静音性能を実現しています。

設置フレキシビリティ

B5サイズでわずか2Kgのコンパクト設計により、室内どこでも持ち運べる「Room To Room モビリティ」を実現します。

- * DLP™(Digital Light Processing)、DMD™(Digital Micromirror Device)は、米国テキサスインスツルメンツ社の登録商標です。
- * DMD™は、米国テキサスインスツルメンツ社が開発した液晶に替わる超精密部品です。
- * VGA、XGAは米国International Business Machines Corporationの商標または登録商標です。
- * S-VGAはVideo Electronics Standards Associationの登録商標です。
- * TMDSはシリコン・イメージ社の商標です。

なお、各社の商標および製品商標に対しては特に注記のない場合でも、これを十分尊重いたします。

注 意

この装置は、情報処理装置等電波障害自主規制協議会（VCCI）の基準に基づくクラスB情報技術装置です。この装置は、家庭環境で使用することを目的としていますが、この装置がラジオやテレビジョン受信機に近接して使用されると、受信障害を引き起こすことがあります。
説明書に従って正しい取り扱いをしてください。

- （1）本書の内容の一部または全部を無断転載することは禁止されています。
- （2）本書の内容に関しては将来予告なしに変更することがあります。
- （3）本書は内容について万全を期して作成いたしました。が、万一ご不審な点や誤り、記載もれなどお気づきのことがありましたらご連絡ください。
- （4）本機の使用を理由とする損害、逸失利益等の請求につきましては、当社では（3）項にかかわらず、いかなる責任も負いかねますので、あらかじめご了承ください。
- （5）乱丁、落丁はお取り替えいたします。

目次

準備と予備知識

主な特長	2
安全のために必ずお守りください	4
付属品を確認する	11
本体各部のなまえ	12
付属品アジャスタの取り付けかた	14
リモコン各部のなまえ	15
リモコンを準備する	16
電池の入れかた	16
リモコンの受光可能範囲	16

設置と投映

スクリーンに投映するまでの手順	17
設置の目安	
投映距離と画面サイズ	18
電源コードの接続	
電源コードの接続	21
映像機器やパソコンを接続する	
VIDEO端子、S-VIDEO端子との接続	22
YPbPr/YCbCr端子との接続	23
RGB端子、DVI-D端子との接続	24
ノートパソコンの外部出力信号を出力するには	25
電源のON/OFF	
主電源のON/OFF	26
電源のON/STANDBY (スタンバイ)	26
投映画面の調整	
投映画面の位置調整	27
画面サイズとフォーカス (焦点) 調整	27
入力選択	28
アスペクト比 (画面の横と縦の比率) 選択	28
入力画面とアスペクト選択画面	29

ふだんの操作

リモコンで操作する	
電源のON/STANDBY (スタンバイ)	30
入力選択	31
アスペクト比 (画面の横と縦の比率) 選択	32
入力信号を自動調整する	32

調整と設定

オンスクリーンメニューの使いかた	33
メニュー一覧	36
映像の調整【映像1】	
明るさを調整する	38
コントラストを調整する	38
色の濃さを調整する	38
色あい	39
シャープネスを調整する	39
ホワイトバランスを調整する	39
入力信号のクロック周波数を調整する	40
入力信号の位相を調整する	40
入力映像の調整【映像2】	
ビデオ映像の鮮明度の調整	41
画面の鮮明度の調整	41
プロスキャンモードの設定	41
画面表示位置の移動	42
ガンマ補正の設定	42
映像信号のカラー方式の設定	43
HDTV、SDTVフォーマットの設定	43
カラースペースの設定	43
ホワイト強調の設定	44
表示設定【設定】	
台形歪みの調整	45
スクリーン投映方式の設定	45
背景色の設定	46
自動スタンバイの設定	46
LEDの表示設定	46
オンスクリーン表示の設定【オプション】	
オンスクリーン表示言語の設定	47
メニュー表示位置の移動	47
オンスクリーン表示時間の設定	47
リセット・保存・情報【情報】	
映像調整のセーブ (登録) とロード (呼出し)	48
標準設定に戻す	49
ランプの使用時間をリセットする	49
ランプ使用時間/解像度、周波数を見る	50

その他

故障かな?と思ったら	51
STATUSインジケータが点灯/点滅しているときは	52
ランプカートリッジの交換	53
お手入れについて	55
対応周波数一覧	56
仕様	57
本体外形図	58
アフターサービス	59

安全のために必ずお守りください

ご使用の前に

絵表示について

この「取扱説明書」および製品への表示では、製品を安全に正しくお使いいただき、あなたや他の人々への危害や財産への損害を未然に防止するために、いろいろな絵表示をしています。

その表示と意味は次のようになっています。

内容をよく理解してから本文をお読みください。



警告

この表示を無視して、誤った取り扱いをすると、人が死亡や大けがをするなど人身事故の原因となります。



注意

この表示を無視して、誤った取り扱いをすると、人がけがをしたり周囲の家財に損害をあたえたりすることがあります。

絵表示の意味



この記号は注意（警告を含む）をうながすことを表しています。
図の中に具体的な注意内容（右図の場合は感電注意）が描かれています。



この記号はしてはいけないことを表しています。
図の中に具体的な禁止内容（右図の場合は分解禁止）が描かれています。



この記号はしなければならないことを表しています。
図の中に具体的な指示内容（右図の場合は電源プラグをコンセントから抜く）が描かれています。



《必ずお守りください》

⚠ 警告

電源コードを傷つけない



禁止

電源コードを傷つけると、火災や感電の原因となります。

- 設置時に、製品と壁やラック(棚)などの間に、はさみ込んだりしない。
- 電源コードを加工したり、傷つけたりしない。
- 重いものをのせたり、引っ張ったりしない。
- 熱器具に近づけたり、加熱したりしない。
- 電源コードを抜くときは、必ずプラグを持って抜く。

万一、電源コードが傷んだら、弊社「カスタマーセンター」に交換をご依頼ください。

内部を開けない



分解禁止

内部には電圧の高い部分があります。キャビネットや裏ぶたを開けたり改造したりすると、火災や感電の原因となります。内部の調整や設定、点検、修理は弊社「カスタマーセンター」にご依頼ください。

ランプ交換はランプが十分に冷えてから行う



高温注意

電源を切った直後はランプが高温になっており、さわるとやけどの原因となります。ランプ交換の際は、電源を切ってから60分以上たって、十分にランプが冷えてから行ってください。

レンズをのぞかない



禁止

放映中にプロジェクタのレンズをのぞくと光が目に入り、悪影響を与えることがあります。

内部に水や異物を入れない



禁止

水や異物が入ると火災や感電の原因となります。

万一、水や異物が入ったときは、すぐに電源を切り、電源コードや接続ケーブルを抜いて、弊社「カスタマーセンター」にご相談ください。

次のようなところでは使用しない



禁止

火災・感電の原因となります。

- 本機を暖房の近くや振動の多い所
- 湿気やほこりの多い場所
- 油煙や湿気の当たるような場所（調理台や加湿器のそばなど）

《必ずお守りください》

警告

不安定な場所に設置しない



禁止

ぐらついた台の上や傾いたところに設置すると、倒れたり落ちたりしてけがの原因となります。また、設置・取り付け場所の強度を充分にお確かめください。

表示以外の電圧で使用しない



定格電圧以外使用禁止

表示された電源電圧以外の電圧で使用しないでください。火災・感電の原因となります。

水場や水にぬれるような所には置かない



水ぬれ禁止

水が入ったり、ぬれたり、風呂場などで使うと、火災や感電の原因となります。雨天や降雪中の窓際でのご使用や、海岸、水辺でのご使用は特にご注意ください。

故障したままの使用はしない



電源プラグを
コンセントから抜く

万一、煙が出ている・変なにおいや音がするなどの異常状態のまま使用すると、火災・感電の原因となります。

すぐに電源を切り、そのあと必ず電源プラグをコンセントから抜いてください。煙が出なくなるのを確認してから弊社「カスタマーセンター」に修理を依頼してください。お客様による修理は危険ですから絶対におやめください。



すぐ修理依頼を

取扱説明書に従って正しく使用してもなお画面が映らない、音が出ないなどの故障状態で使用しないでください。火災・感電の原因となります。すぐに電源を切り、電源プラグをコンセントから抜いて弊社「カスタマーセンター」に修理を依頼してください。

お客様による修理は危険ですから絶対におやめください。

排気孔、吸気孔をふさがない



禁止

排気孔、吸気孔をふさぐと内部に熱がこもり、火災や故障の原因となることがあります。また、手を近づけるとやけどをする場合があります。

風通しをよくするために次の項目をお守りください。

- 周囲の壁から10cm 以上離して設置する。
- 密閉された狭い場所に押し込めない。
- 布などで包まない。
- たてて使用しない。

警告

お手入れの際は、電源を切って電源プラグを抜く



電源プラグを
コンセントから抜く

電源を接続したままお手入れをすると、感電の原因となります。

プロジェクトの上に水が入った物を置かない



禁止

内部に水が入ると火災や感電の原因となります。

長時間の外出、旅行のときは、電源プラグを抜く



電源プラグを
コンセントから抜く

安全のため、必ず電源プラグをコンセントから抜いてください。

雷が鳴りだしたら、電源プラグに触れない



雷が鳴りだしたら、電源プラグには触れないでください。
感電の原因になります。

電源プラグの刃および刃の付近の付着物はとる



電源プラグの刃および刃の付近にほこりや金属物が付着している場合は、電源プラグを抜いてから乾いた布で取り除いてください。
そのまま使用すると火災・感電の原因となります。

《必ずお守りください》

⚠ 注意

電源コード・電源プラグについて



禁止



電源プラグを
コンセントから抜く



- ぬれた手で電源プラグを抜き差ししないでください。感電の原因となることがあります。
- 移動させる場合は、電源を切り、必ず電源プラグをコンセントから抜き、機器間の接続ケーブル、転倒防止をはずしたことを確認の上、行ってください。接続したまま移動させるとコードに傷が付き、火災・感電の原因となることがあります。
- 電源プラグはコンセントに根元まで確実に差し込んでください。差し込みが不完全ですと発熱したりほこりが付着して火災の原因となることがあります。また、電源プラグの刃に触れると感電することがあります。

部品が割れた際は修理依頼を



部品割れは修理依頼

本機内部にはレンズやフィルタ、ランプなどのガラス部品を多数使用しています。万一、部品が割れた際には、破片だけがなどをしないように取り扱いに注意し、弊社「カスタマーセンター」に修理を依頼してください。

キャリングケースの取扱上のご注意



無理な扱いはしない

本機を入れて振り回さないでください。また、無理なサイズのものはいれないでください。移動の際に本機の傷や故障の原因になることがあります。

点検・工事について



内部の掃除は弊社「カスタマーセンター」で

1年に一度くらいは内部の掃除を弊社「カスタマーセンター」にご相談ください。本機の内部にほこりがたまったら、長い間掃除をしないと火災や故障の原因となることがあります。特に、湿気の多くなる梅雨期の前に行うと、より効果的です。なお、内部掃除費用につきましては弊社「カスタマーセンター」にご相談ください。

投映中にレンズキャップはしない



- 投映中はレンズにふたをしないでください。ふたの部分が高温になり溶けることがあります。
- 投映中にレンズの前に水槽等、レンズ効果をもたらすものを置かないでください。火災の原因となることがあります。

⚠ 注意

電池の取り扱い



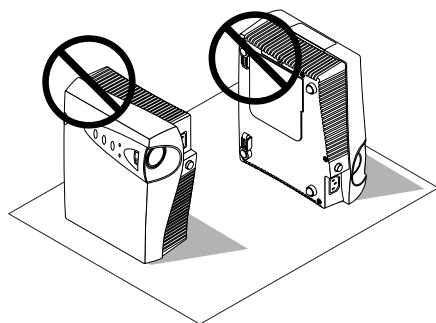
電池の取り扱いには注意してください。火災・けがや周囲を汚損する原因となることがあります。

- 電池をショート、分解、火に入れたりしない
- 指定以外の電池は使用しない
- 新しい電池と古い電池を混ぜて使用しない
- 電池を入れたまま長期間放置しない
- ボタン電池は幼児の手の届かないところに保管する



- 電池をリモコンに入れる場合、極性を（プラス+とマイナス-の向き）に注意し、機器の表示通りに入れる
- 使いきった電池はすぐに機器から取り出す
- 直射日光・高温・高湿の場所を避けて保管する
- 電池を廃棄するときは、その地域の回収方法に従ってください。

本機を立てて使用しない



本機を立てて使用しないでください。内部の精密機構部品に悪い影響を与えたり、通風孔をふさいだりして故障の原因となることがあります。

天吊りの設置について



天吊りなどの特殊な工事が必要な設置につきましては弊社「カスタマーセンター」にご相談ください。

お客様による設置は絶対におやめください。落下してけがの原因となることがあります。

使用上のお願い

性能確保のため、次の点にご留意ください。

1. リモコンについて

本機の操作の大部分はリモコンで行います。リモコンをなくさないようにご注意ください。

2. 投映レンズ面は素手でさわらないでください

投映レンズ面に指紋や汚れがつくと、十分な画質がえられませんので、レンズ面には手をふれないでください。

3. スクリーンについて

ご使用のスクリーンに汚れ、傷、変色などが発生すると、きれいな映像が見られません。
スクリーンに揮発性のものをかけたり、傷や汚れが付かないよう取り扱いにご注意ください。

4. 持ち運びについて

本機を持ち運ぶときは、本体に強い衝撃を与えないようにしてください。

5. 振動や衝撃が加わる場所への設置は避けてください

動力源などの振動が伝わる所に設置したり、車両、船舶などに搭載すると、本機に振動や衝撃が加わって内部の部品がいたみ、故障の原因となります。振動や衝撃の加わらない場所に設置してください。

6. 高圧電線や動力源の近くに設置しないでください

高圧電線、動力源の近くに設置すると、妨害を受ける場合があります。

7. 廃棄について

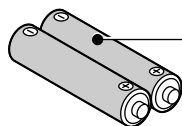
本体廃棄の際は、弊社「カスタマーセンター」または、自治体にお問い合わせください。

付属品を確認する

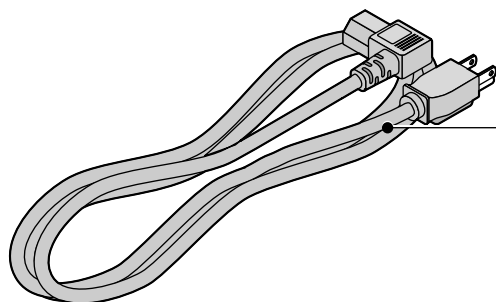
本体と付属品を箱から取り出して、次のものが同梱されていることをご確認ください。
付属品が不足している場合は弊社「カスタマーセンター」にご連絡ください。



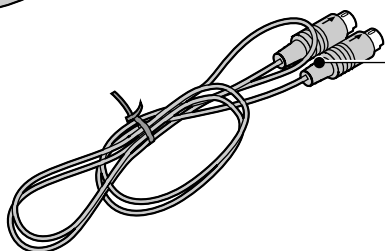
リモコン (1個)
プロジェクタを操作します。



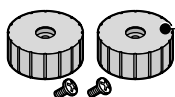
単三乾電池 (2個)
リモコン用の乾電池です。お買いあげの際は乾電池を入れてください。入れかたは ➡ 16ページ



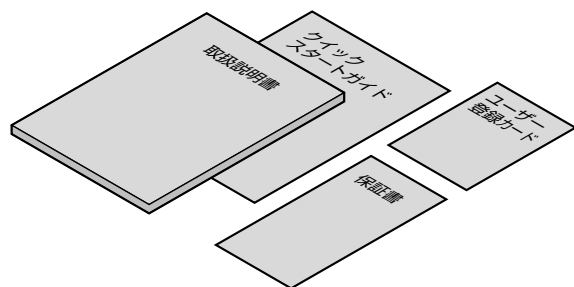
電源コード (1.8m)
電源を供給する電源コードです。接続は ➡ 21ページ



S-ビデオケーブル (3m)
接続機器の出力端子がS映像端子のときに使います。
接続は ➡ 22ページ



アジャスタ (2個) / ネジ (2本)
プロジェクタの上下位置の微調整が必要な場合に取り付けます。
取り付けは ➡ 14ページ、調整は ➡ 27ページ



取扱説明書 (1冊)
プロジェクタの取り扱い、操作方法、ご注意が書かれています。

クイックスタートガイド (1枚)
設置から映像を投映するまでの手順をまとめています。

ユーザー登録カード (1枚)

保証書 (1枚)

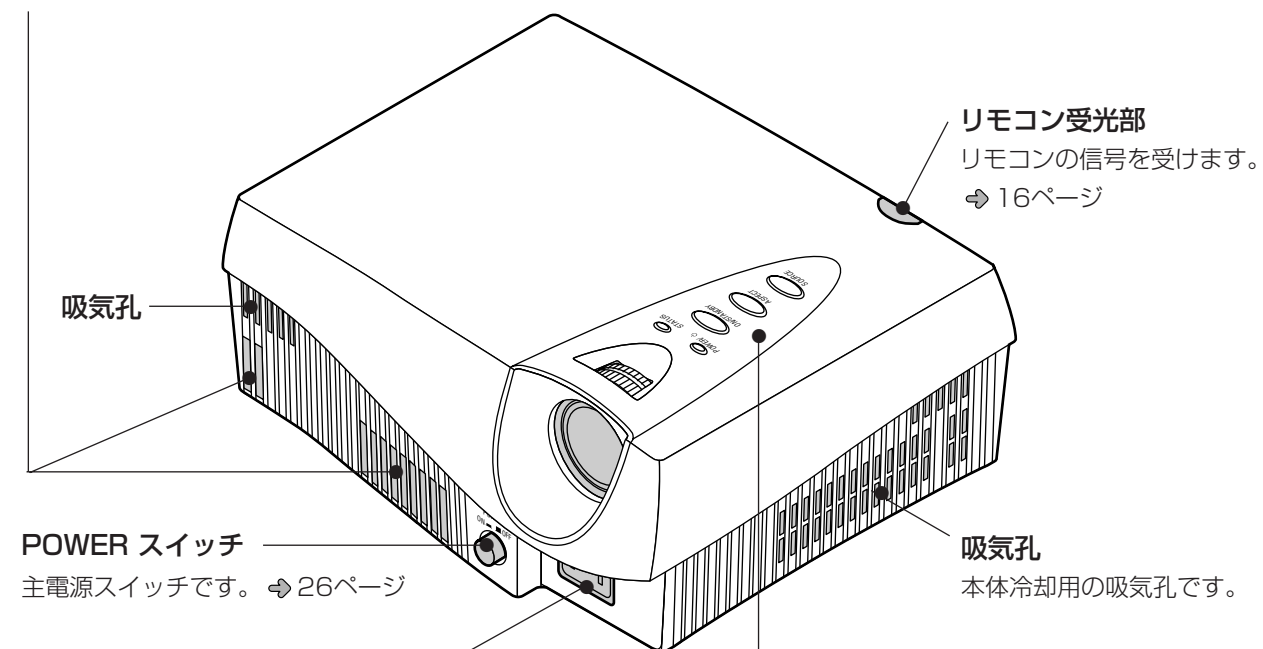
本体各部のなまえ

排気孔

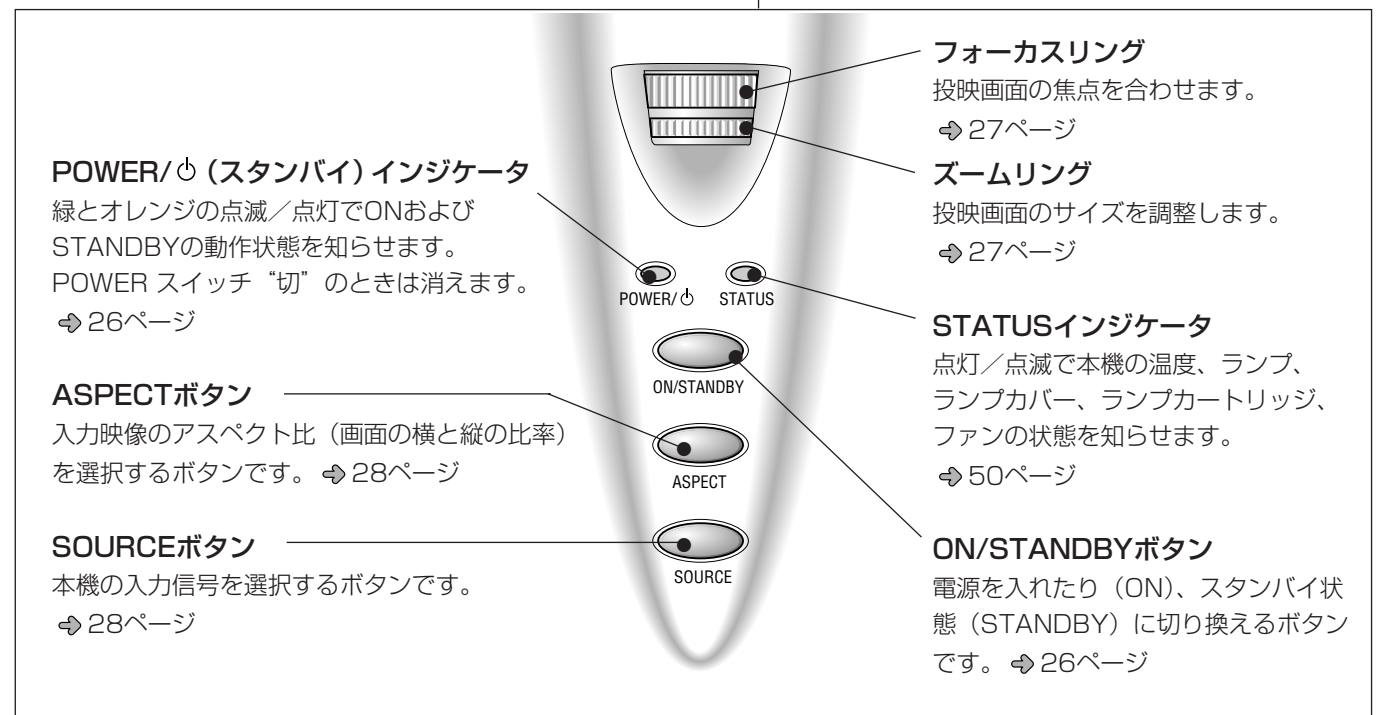
本体冷却用の排気孔で、ランプの熱が排出されます。

お願い

排気孔からはランプの熱が出ますので充分ご注意ください。



付属の電源コードを接続します。 ➡ 21ページ

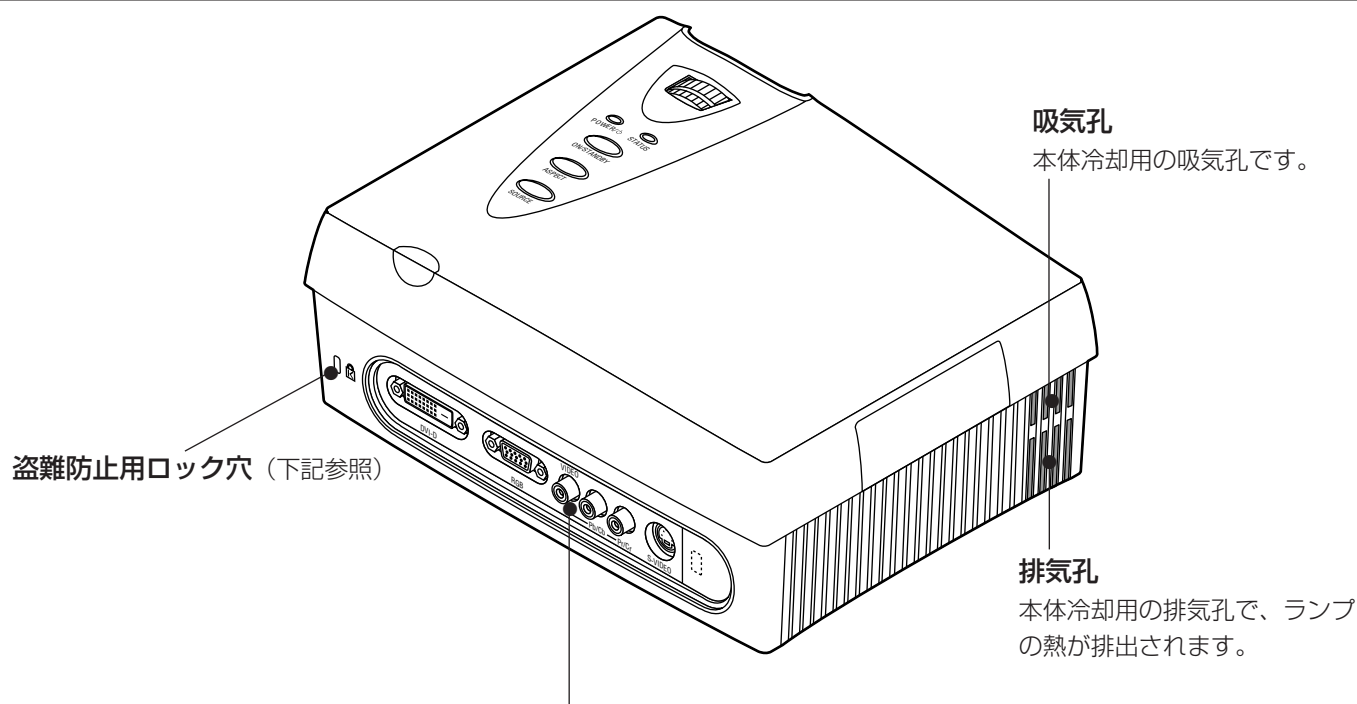


操作説明のマークについて

お知らせ このマークは、ご参考になる説明や関連することがらを記載しております。

お願い このマークは、正常な操作や動作ができなくなったり故障の要因となることがらを記載しています。

“➡ 00ページ” は参照ページを示しています。

**DVI-D 端子**

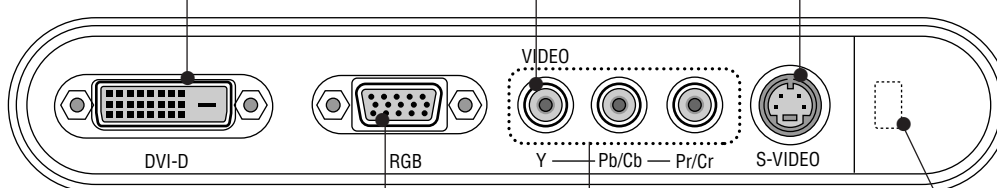
接続機器のDVI-D出力端子（24ピン）と接続します。⇒ 24ページ

VIDEO 端子

接続機器のVIDEO（映像）出力端子と接続します。⇒ 22ページ

S-VIDEO 端子

接続機器のS-VIDEO（S映像）出力端子と接続します。⇒ 22ページ

**RGB 端子**

接続機器のRGB出力端子（ミニ D-Sub 15ピン）と接続します。⇒ 24ページ

YPbPr/YCbCr 端子

接続機器のYPbPr出力端子またはYCbCr 出力端子と接続します。⇒ 23ページ

CTRL 端子

この端子はサービスマン専用端子です。（工場出荷時はシールを貼っています。）お客様による操作は、故障の原因となりますので、おやめください。

盗難防止用ロックについて

盗難防止用ロックは、Kensington社製のマイクロサーバーセキュリティシステムに対応しています。この製品についてのお問い合わせ先は、以下のとおりです。

日本ボラデジタル株式会社
〒104-0032 東京都中央区八丁堀1-5-2
はごろもビル5F
Tel : 03-3537-1070
Fax : 03-3537-1071

前部脚

高さ微調整するには付属のアジャスタを取り付けてください。

⇒ 下記参照

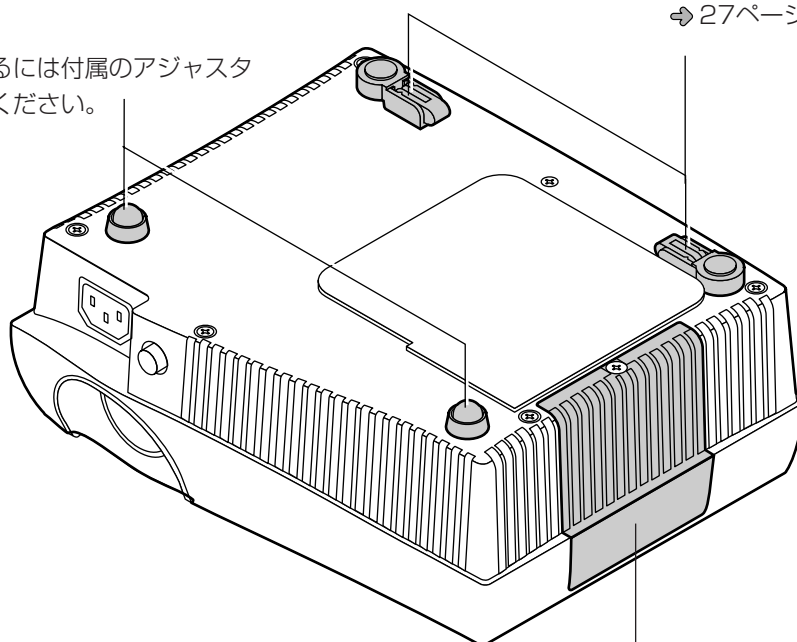
後部アジャスタ

高さ調整用の脚です。

⇒ 27ページ

ランプカバー

光源用のランプカートリッジの交換のときに外します。 ⇒ 51ページ

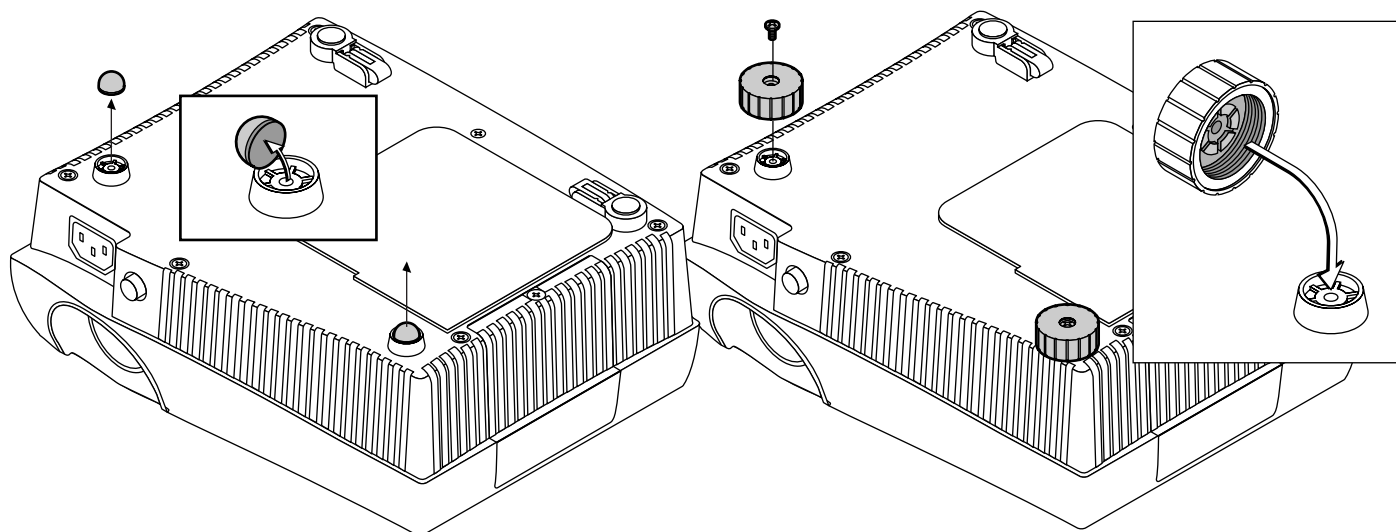


付属品アジャスタの取り付けかた

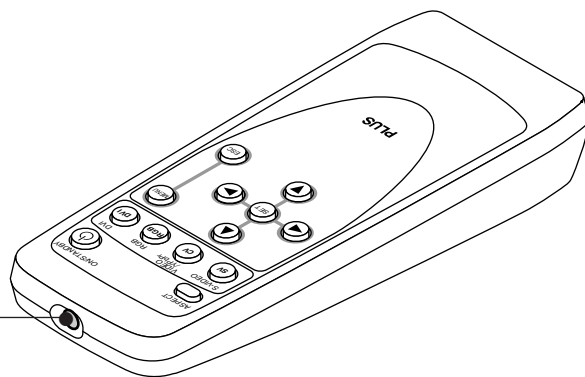
■ 本機を上下方向に微調整する場合には付属のアジャスタを前脚に取り付けてください。

調整のしかたは ⇒ 27ページ「アジャスタ調整のしかた」

- 1 前脚のゴム2箇所を外します。
なお、ゴムは接着されていますので脚部のプラスチックが傷つかないように外してください。
- 2 付属のアジャスタ裏側の凸部を前脚の凹部にはめてからネジ止めします。



リモコン各部のなまえ



リモコン送信部

赤外線を送信します。

ASPECTボタン

入力映像の画面の横と縦の比率を選択するボタンです。⇒ 32ページ

入力の選択に使うボタンです。

入力の選択は ⇒ 31ページ

S-VIDEOボタン

入力を S-VIDEO信号に切り換えます。

VIDEO/YPbPrボタン

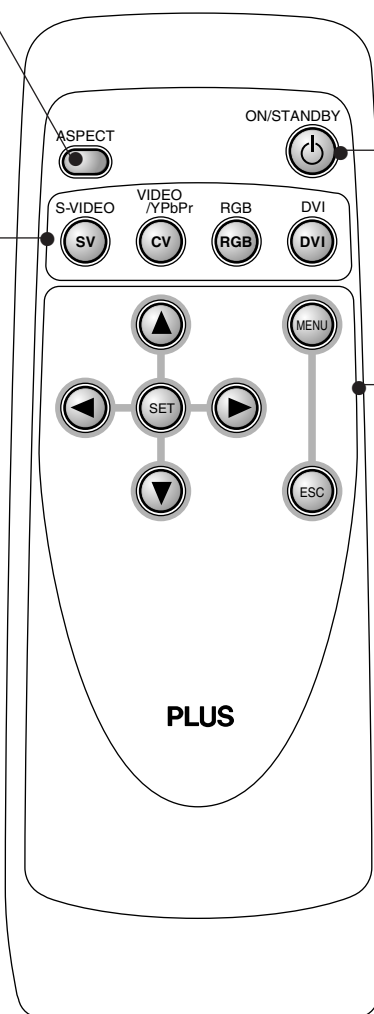
入力を VIDEO, YCbCr, YPbPr 信号に切り換えます。

RGBボタン

入力を RGB信号に切り換えます。

DVI ボタン

入力を DVI-D信号に切り換えます。



ON/STANDBYボタン

電源を入れたり (ON)、スタンバイ状態 (STANDBY) に切り換えるボタンです。⇒ 30ページ

メニュー操作に使います。

⇒ 33ページ「オンスクリーンメニューの使いかた」

MENUボタン

投映画面にメニューを表示させるときとメニュー名の選択に使います。

ESCボタン

メニューを閉じるときに使います。

SETボタン

メニューの項目の決定に使います。メニューを閉じているときは、RGB入力信号の自動調整を行います。

カーソルボタン (◀▶▲▼)

メニュー名、項目名、内容の選択に使います。

お知らせ

リモコンの取り扱いについて

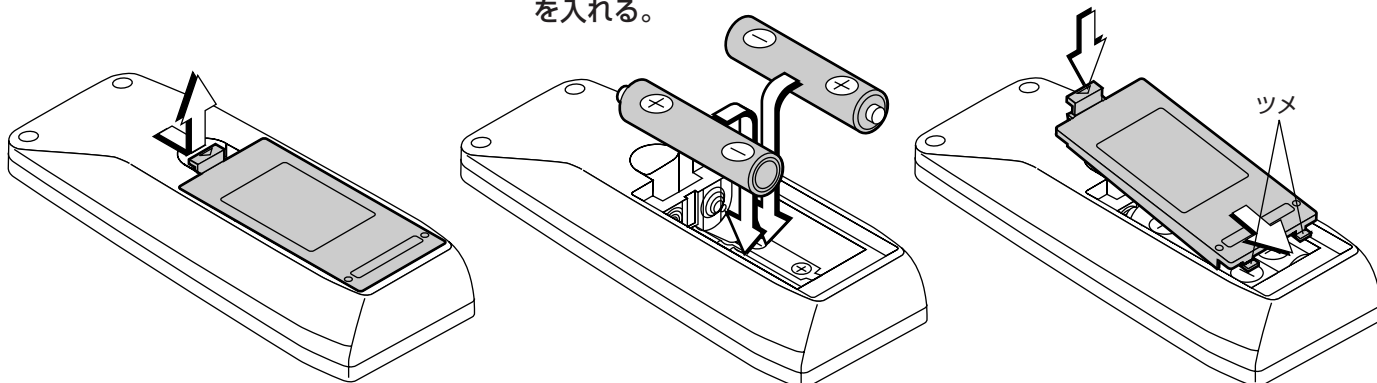
- リモコンを落としたり、誤った取り扱いはしないでください。
- リモコンに水や液体をかけないでください。万一、ぬれた場合は、すぐにふき取ってください。
- できるだけ熱や湿気のないところで使用してください。
- 長期間リモコンを使用しないときは、乾電池を取り出してください。
- リモコンしかできない操作 (メニュー操作) がありますので、取り扱いには注意してください。

リモコンを準備する

電池の入れかた

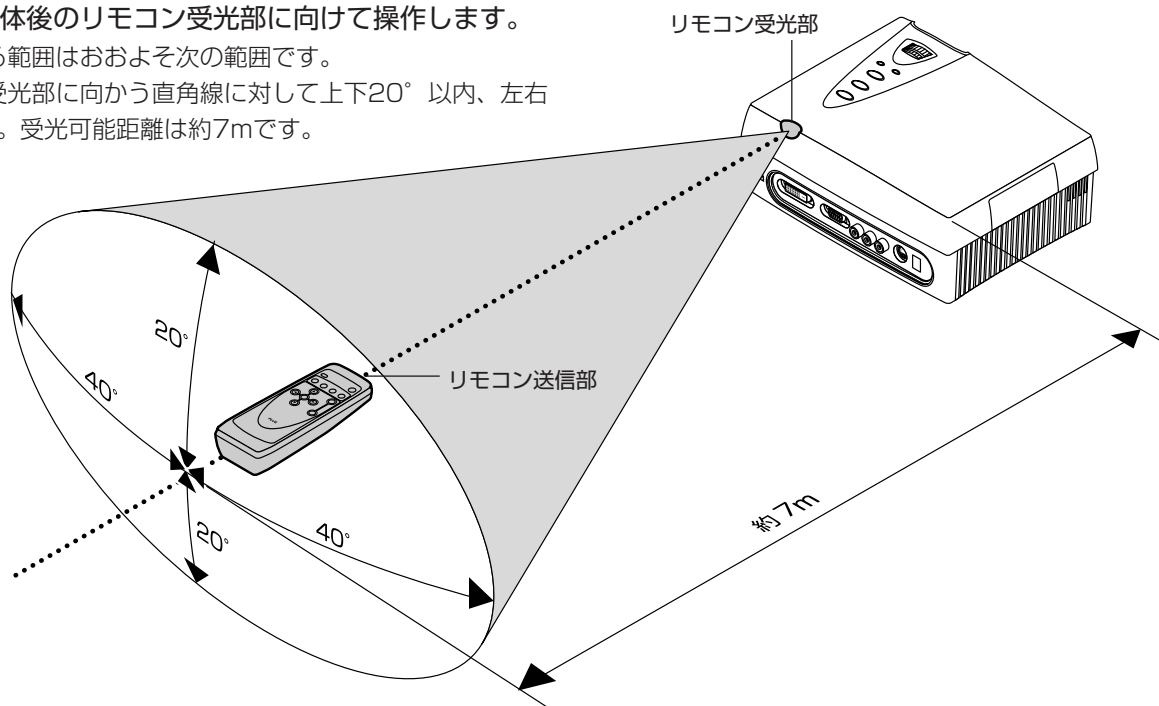
- はじめてリモコンを使うときは、付属の電池を入れてください。
- 電池を交換するときは2本とも同じ種類の単三電池をお買い求めください。

- 1** リモコン裏側の電池ケースを押したまま上げてはずす。
- 2** ケース内部の表示にしたがって、+と-を間違えないように電池を入れる。
- 3** 電池ケースのツメを入れてから押して閉める。



リモコンの受光可能範囲

リモコンは本体後のリモコン受光部に向けて操作します。
本体が受光する範囲はおおよそ次の範囲です。
受光範囲は、受光部に向かう直角線に対して上下20° 以内、左右40° 以内です。受光可能距離は約7mです。



お知らせ

- 本体のリモコン受光部やリモコン送信部に明るい光が当たっていたり、途中で障害物があって信号がさえぎられていると動作しません。
- 電池が消耗していると動作しません。

スクリーンに投映するまでの手順

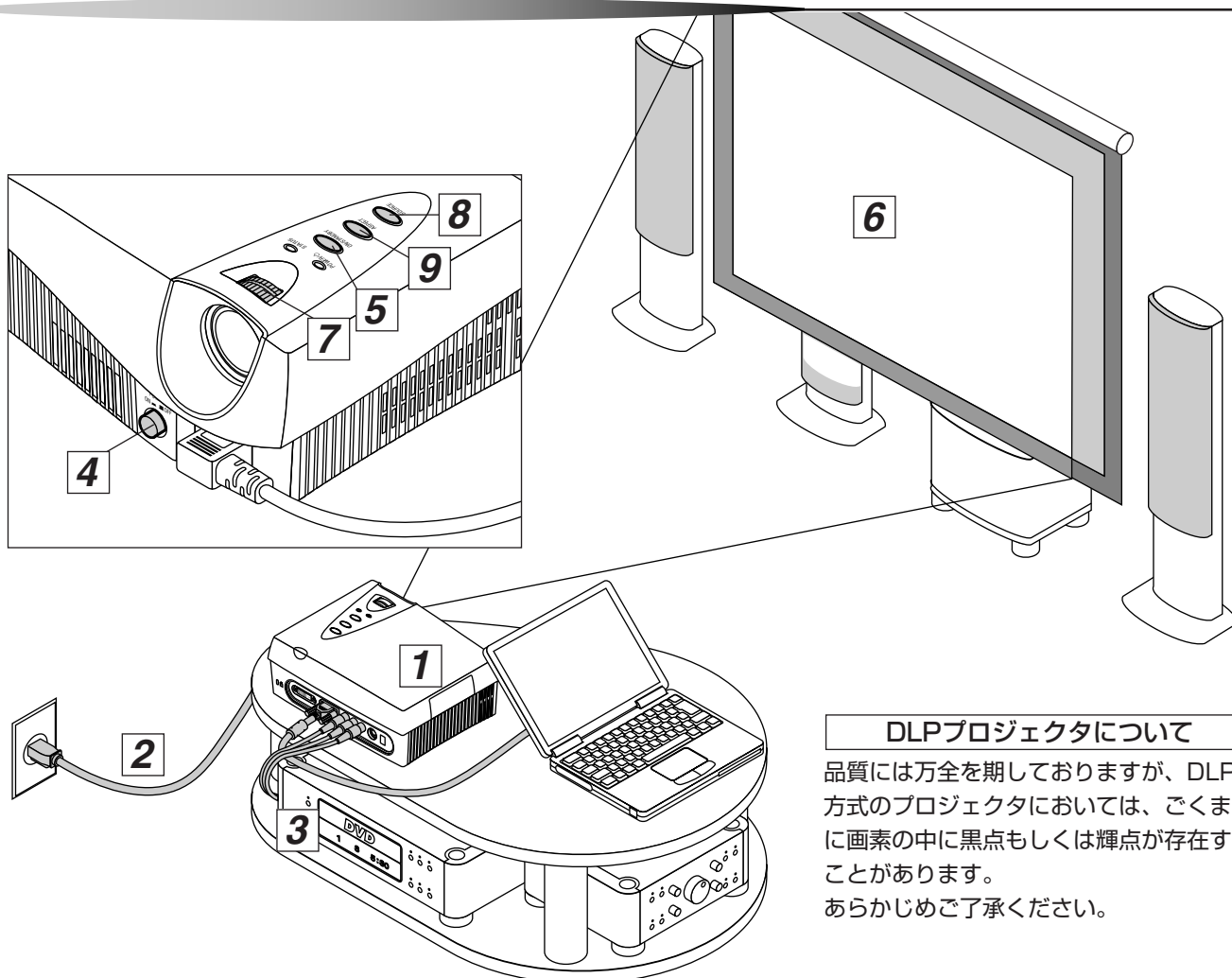
準備と予備知識

設置と投映

ふだんの操作

調整と設定

その他



DLPプロジェクタについて

品質には万全を期しておりますが、DLP方式のプロジェクタにおいては、ごくまれに画素の中に黒点もしくは輝点が存在することがあります。
あらかじめご了承ください。

お知らせ

- スクリーンは別途お買い求めください。
- パソコンのRGB端子との接続には市販のケーブルを、DVI-D端子との接続には別売のケーブル（注文コード 27-060）が必要です。
- DVDプレーヤーやハイビジョン機器をYPbPr/YCbCr端子と接続するには別売のケーブル（注文コード 27-062）が必要です。
- ビデオ機器をVIDEO端子と接続するには市販のビデオケーブルが必要です。
- オーディオシステムの接続は各々の説明書をご覧ください。

1 位置決めをする ⇨ 18ページ「投写距離と画面サイズ」
スクリーンおよびプロジェクタの置く場所を決めます。

2 電源コードを接続する ⇨ 21ページ「電源コードの接続」

3 映像機器やパソコンを接続をする

お手持ちの機器と接続します。

⇨ 22ページ「VIDEO端子、S-VIDEO 端子との接続」

⇨ 23ページ「YPbPr/YCbCr端子との接続」

⇨ 24ページ「RGB端子、DVI-D端子との接続」

4 主電源を入れる ⇨ 26ページ「主電源のON/OFF」

5 電源を入れる ⇨ 26、30ページ「電源のON/STANDBY（スタンバイ）」

6 投映画面をスクリーンに合わせる ⇨ 24ページ「投映画面の位置調整」

7 画面サイズとフォーカス（焦点）を正しく合わせる

⇨ 27ページ「画面サイズとフォーカス（焦点）の調整」

8 入力機器を選択する ⇨ 28、31ページ「入力選択」

9 映像の縦と横のアスペクト比（画面の横と縦の比率）を選択する

⇨ 28、32ページ「アスペクト比（画面の横と縦の比率）選択」

設置の目安

- この場所に設置するとどのくらいの画面サイズになるか、またどのくらいのスクリーンを用意すればいいのかわを知りたいときの目安にしてください。
- フォーカス(焦点)の合う投射距離は本体レンズ面から 1.2m~7.6m です。この範囲で設置してください。

1 投射距離と画面サイズ

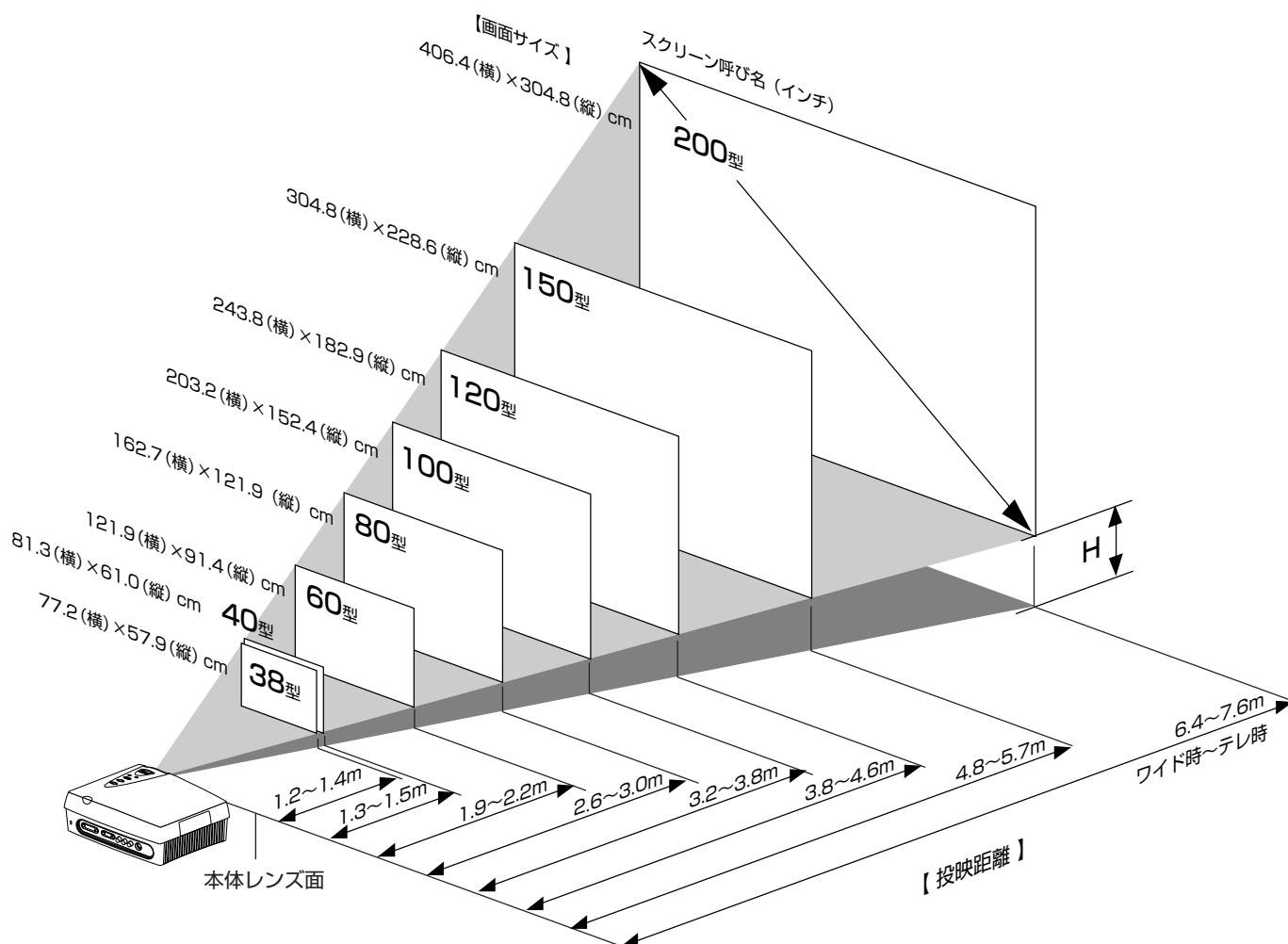
お知らせ

■ アスペクト比4:3スクリーン (出力サイズ800×600 時)

多用途に投射できるプロジェクタスクリーンです。

スクリーン呼び名に対応した投射距離の範囲内に設置します。この範囲内であればズームリングで画面サイズが調整できます。

- アスペクト比の【フル】または【オート】を選択している場合(出力サイズ800×600)の投射距離です。【スルー】などを選択して映像をスクリーン一杯に投射する場合は投射距離が異なります。ズーム調整範囲外の場合もありますので固定設置する場合は、テスト投射を行なってください。⇒ 29ページ「入力画面とアスペクト選択画面」



Hの寸法 (プロジェクタのレンズ中心から画面下端の高さです。)

200型: 60.6cm
80型: 24.3cm

150型: 45.5cm
60型: 18.2cm

120型: 36.4cm
40型: 12.1cm

100型: 30.3cm
38型: 11.5cm

お知らせ

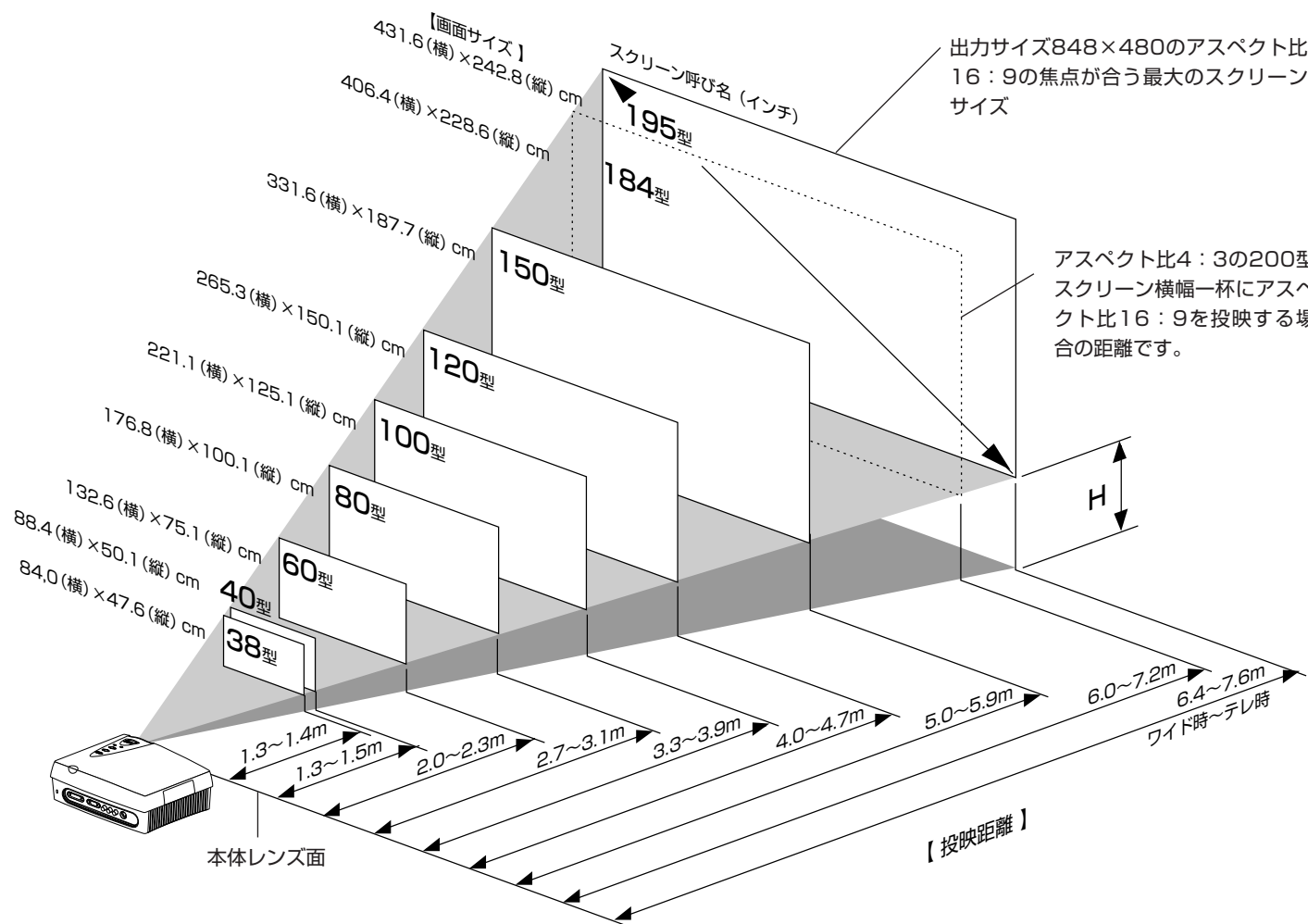
- アスペクト比 [16 : 9] 選択時の投映距離です。この投映距離で [フル] や [オート] などを選択すると映像の上下がはみ出します。ズーム調整範囲外の場合もありますので固定設置する場合は、テスト投映を行ってください。⇒ 29ページ「入力画面とアスペクト選択画面」

■アスペクト比16 : 9スクリーン（出力サイズ848×480時）

DVDなどのスクイーズ画面の視聴を目的として16 : 9スクリーンを用意した場合の投映距離です。

本機はホームシアターのための出力サイズ848×480画素を用意し、高精細なアスペクト比16 : 9の投映を可能にしています。

スクリーン呼び名に対応した投映距離の範囲内に設置します。この範囲内であればズームリングで画面サイズが調整できます。



Hの寸法（プロジェクタのレンズ中心から画面下端の高さです。）

195型 : 91.5cm

184型 : 84.9cm

150型 : 69.8cm

120型 : 56.4cm

100型 : 46.8cm

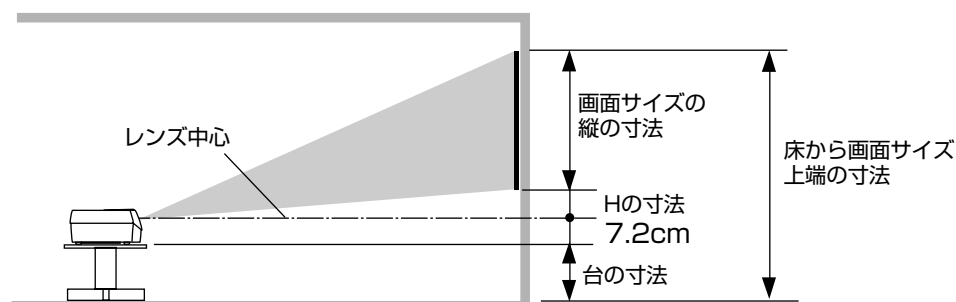
80型 : 37.3cm

60型 : 28.0cm

40型 : 18.6cm

38型 : 17.8cm

【ご参考】 投映画面の設置高さについて



設置場所や位置が決まりましたら、投映の高さもご確認ください。大きなスクリーンサイズでは床から天井の高さ以内に投映できない場合があります。

必要な設置高さは次の計算になります。

画面サイズの縦cm + Hcm + 7.2cm + 台の高さ になります。

【例】 150型の4 : 3スクリーンで、プロジェクタを水平に置いた場合は $228.6\text{cm} + 45.5\text{cm} + 7.2\text{cm} = 281.3\text{cm}$ 必要になります。(台無しの場合)

設置する部屋の高さが240cmのときは、プロジェクタを床に設置しても室内高さが足りないことになります。(なお、後部アジャスタを起こして投映画面を下げるができます。)

お知らせ

- 画面サイズは、スクリーンを設置する部屋の高さと幅や本体のレンズ面とスクリーン間に障害物がないことをご確認後、決めてください。
- 画面サイズが大きくなるほど画面が暗くなります。
スクリーンの裏面に本機を設置して投映する場合は、透過型スクリーンが必要です。
- 本体の脚からレンズ中心までの高さは7.2cmです。
- 設計値のため±5%の誤差があります。

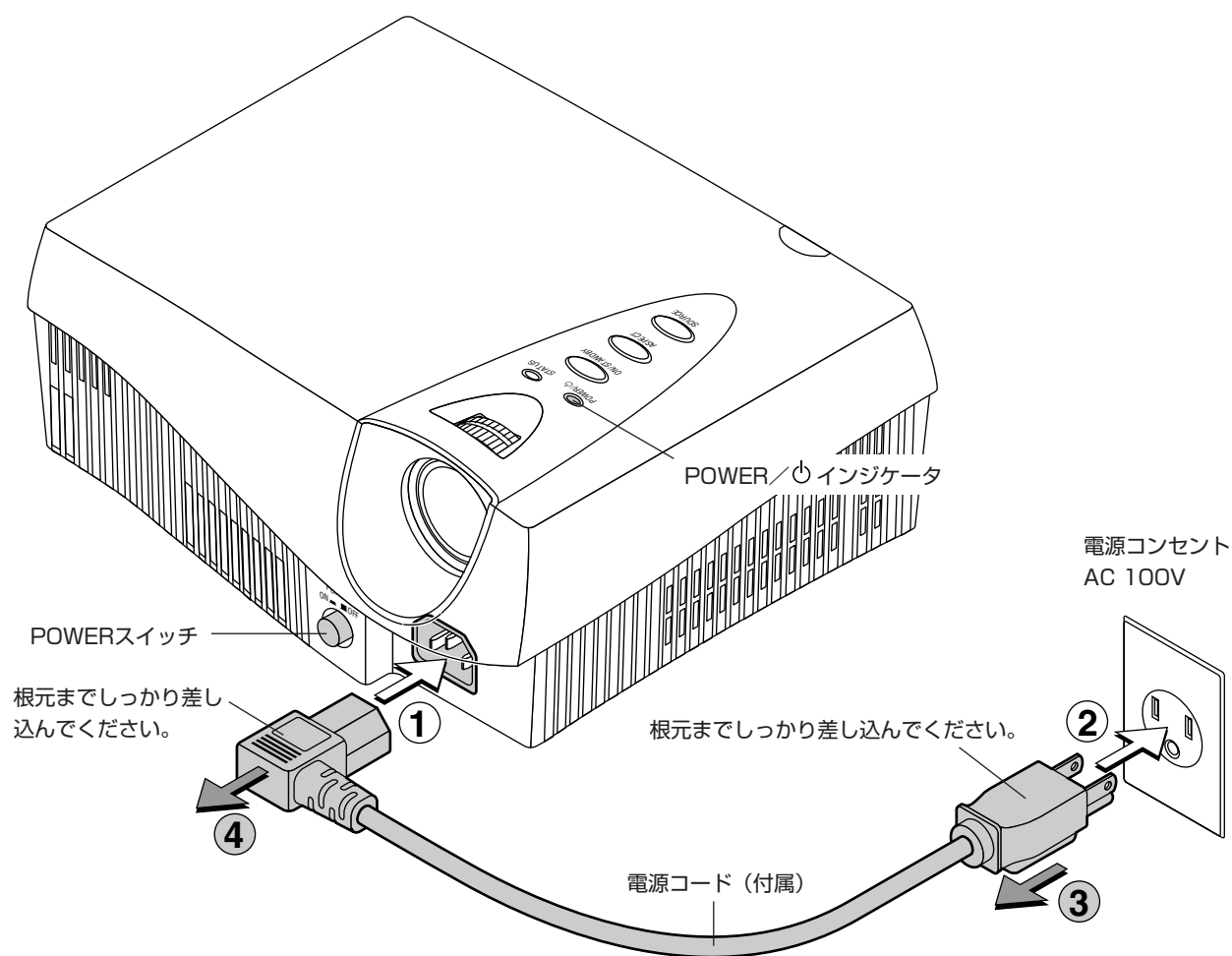
お願い

- 高温または低温になる場所には設置しないでください。(使用温度：5℃～35℃以内)
- 投映画面位置を上げたい場合は、安定した丈夫な台にのせて設置してください。
- スクリーンには、日光や照明などの光が入らないようにしてください。外光が入らないほど、ハイコントラストで美しい映像が楽しめます。

電源コードの接続

2 電源コードの接続

本体の電源コンセントとAC 100Vのコンセントを付属の電源コードで接続します。
アース工事済みのコンセントと接続してください。



使用するときには①②の順に接続し、使い終わったときは③④の順で外してください。

お願い

電源プラグを電源コンセントから抜く場合、容易に手が届くように本機を電源コンセントの近くに設置してください。

- POWER/インジケータがオレンジ点灯中以外は主電源を切ったり、電源コードを抜かないでください。ランプの寿命を短くしたり、機器が故障するおそれがあります。
また、メニューの【設定】→【LED】の項目でOff (LED非表示) に設定しているときは緑が(約60秒)点滅後、インジケータが消灯しますので、このときも、主電源を切ったり、電源コードを抜かないでください。

映像機器やパソコンを接続する

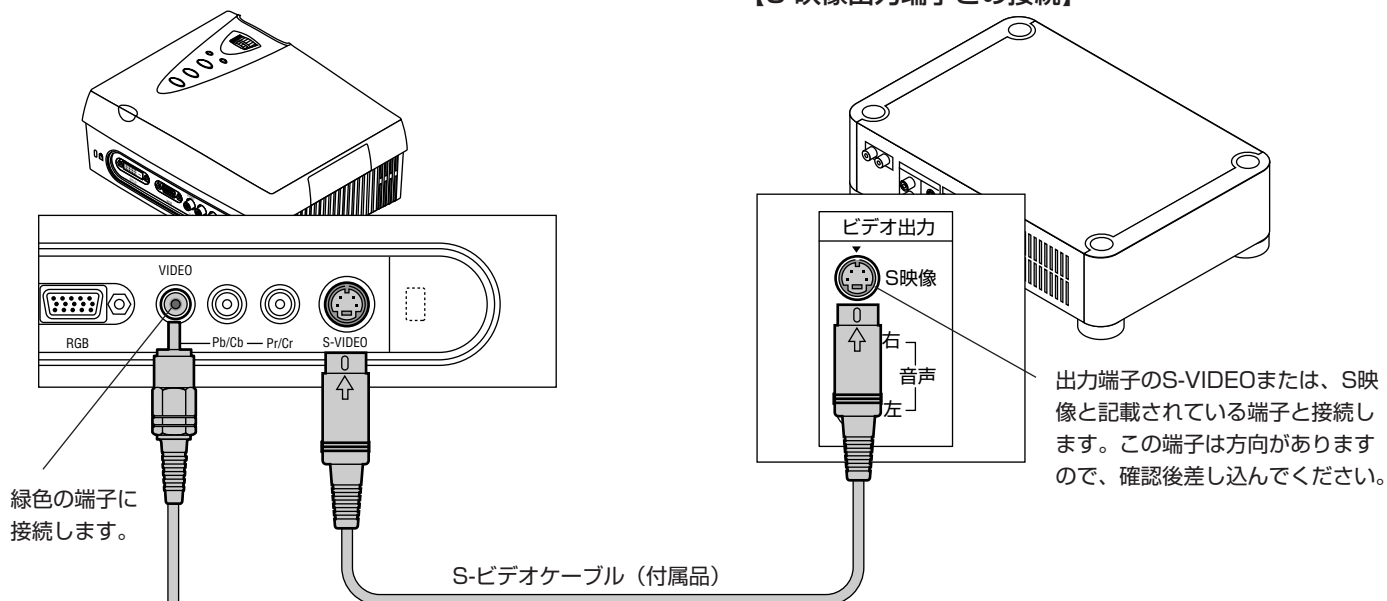
- 本機と映像機器を接続し、さらにDVDプレーヤなどにAVアンプやスピーカシステムを組み合わせると迫力あるホームシアターが楽しめます。また、パソコンと接続すると会議や講義など大画面ディスプレイとして作成データを映すことができます。

3 VIDEO端子、S-VIDEO端子との接続

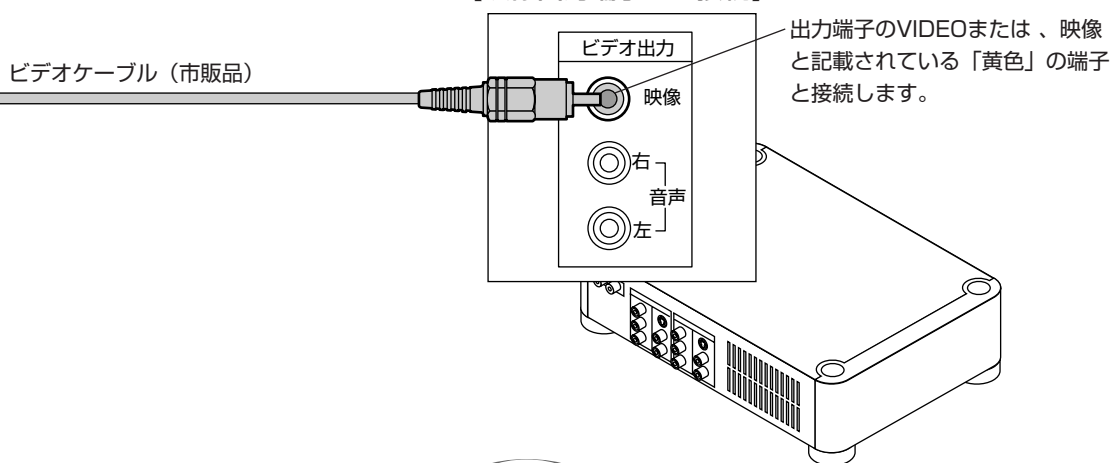
- ビデオデッキ、DVDプレーヤ、レーザーディスクプレーヤ、テレビチューナなど映像出力端子やS映像出力端子を持っている機器との接続です。

本機のVIDEO端子またはS-VIDEO端子に接続します。

【S-映像出力端子との接続】



【映像出力端子との接続】



お知らせ

- 映像機器によってはS1映像、S2映像出力端子との接続はできませんが本機では制御信号は動作しません。本機側でアスペクト比を切り換えてください。
- 映像機器とAVアンプやスピーカシステムなどとの接続は各々の説明書をご覧ください。

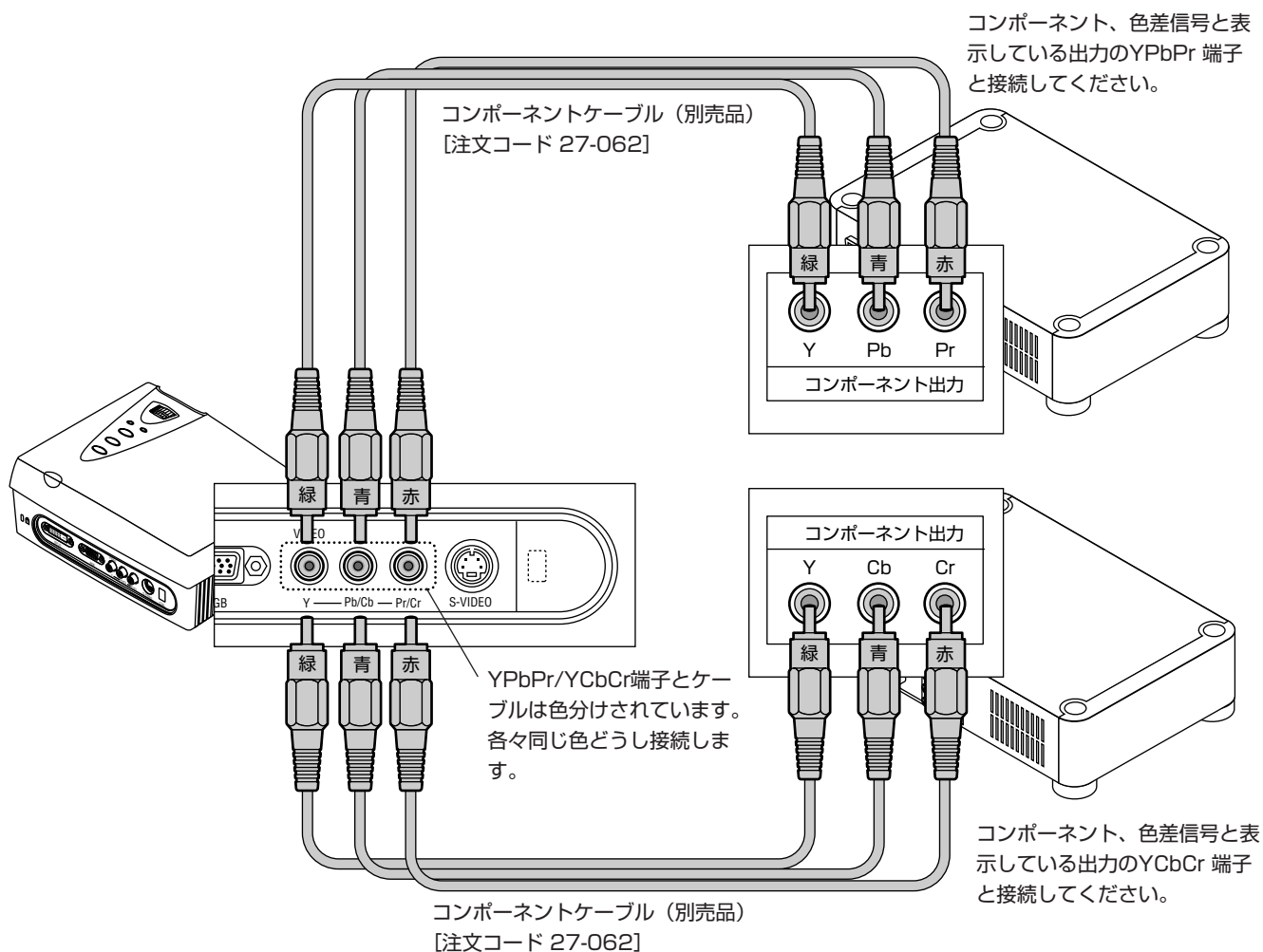
お願い

- 接続の際は本機と接続機器の主電源が切れていることをご確認ください。

3 YPbPr/YCbCr 端子との接続

- DVDプレーヤなどのYCbCr 出力端子やBSデジタルテレビチューナなどのYPbPr出力端子を持っている機器との接続です。

本機のYPbPr/YCbCr 端子と接続します。



お知らせ

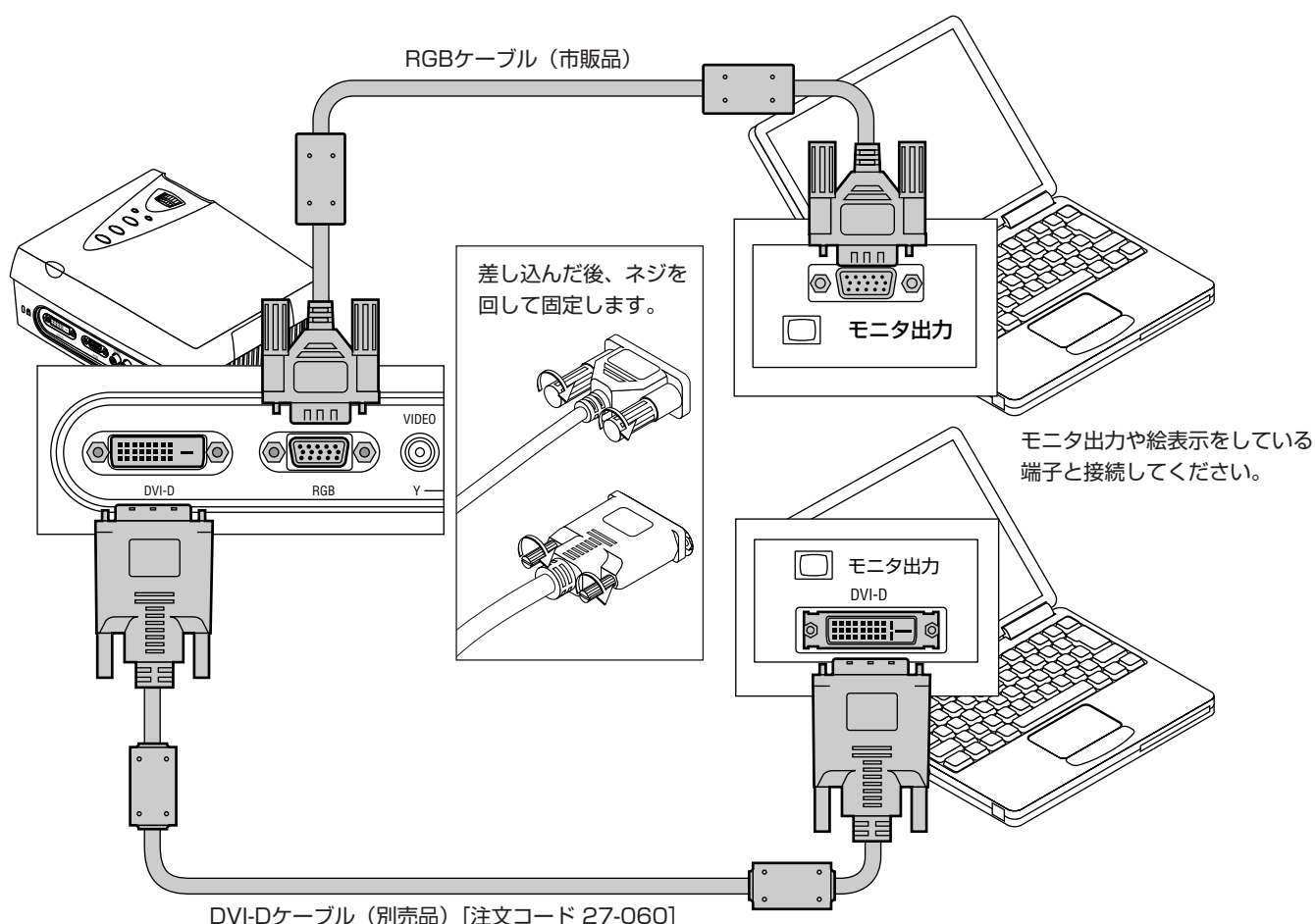
- BSデジタルチューナなどのD端子と接続する場合は、市販品などのD端子変換ケーブルが必要です。
- YPbPr信号を入力した場合には、フォーマットの選択やカラースペースの選択が必要な場合があります。⇒ 43ページ
- 映像機器とAVアンプやスピーカシステムなどとの接続は各々の説明書をご覧ください。

3 RGB端子、DVI-D 端子との接続

■ モニタ出力のRGB端子（アナログ信号）やDVI-D端子（デジタル信号）を持っているパソコンとの接続です。ミニD-Sub 15ピンのRGB端子のパソコンは本機のRGB端子に、DVI規格のDVI-D 端子のパソコンは本機のDVI-D 端子と接続します。

■ 接続の前にご確認ください。

- 本機に適した解像度はS-VGAの800×600ドットです。VGAは拡大表示し、XGAは圧縮表示します。またS-XGA以上の解像度を入力すると正常には映りません。パソコン側で表示可能な解像度に変更してください。56ページの「対応周波数一覧」でご確認ください。
- パソコンの設定方法はお使いのパソコンによって異なりますので、パソコンの取扱説明書やオンラインヘルプをお読みになるか、パソコンメーカーへお問い合わせください。



お知らせ

- 本機のDVI端子はデジタルインターフェースに対応した24ピンDVI-D端子です。DVI規格（Digital Visual Interface）のデジタル信号TMDs（Transition Minimized Differential Signaling）を採用しています。（アナログRGB信号は入力できません。）
- DVI-D端子が装備されていないパソコンはDVI-D端子の付いたデジタルグラフィックボードが必要です。
- 接続の際は、本機と接続機器の主電源が切れていることをご確認ください。

■ ノートパソコンの外部出力信号を出力するには

ノートパソコンを接続する際、ケーブル接続とノートパソコン起動の手順や、ノートパソコン起動後の操作など、必要な知識があります。お手持ちのノートパソコンの取扱説明書やオンラインヘルプを確認しながら、以下の手順を行ってみてください。

1 ノートパソコンから本機に信号が出ているか確認する。

ノートパソコンの液晶画面に表示されていても外部出力信号が出力されているとは限りません。

【参考】プロジェクタのメニューの「情報」の周波数が0 kHz、0 Hzと表示されているときは、パソコンから外部出力信号が出ていません。➡50ページ「ランプ使用時間／解像度、周波数を見る」

2 ノートパソコンから信号が出ていないときは、以下の操作をためしてください。

IBM PC/AT、DOS/V機の場合、[Fn] キー + [F1] ～ [F12] キーのいずれか（下記表参照）を押します。

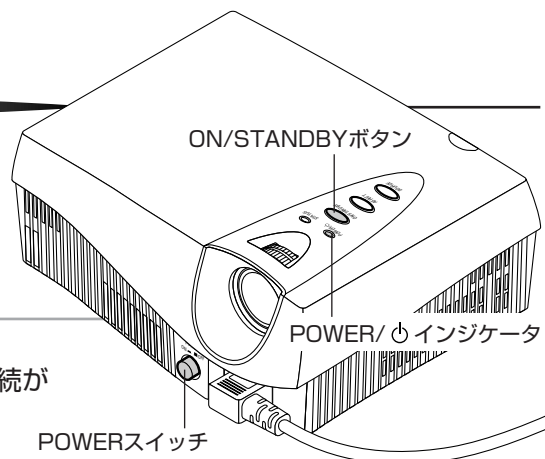
メーカー名	機種	キー
akia	全機種	Fn + F2
COMPAQ	ARMADAシリーズ	Fn + F4
	PRESARIOシリーズ	Fn + F3
DELL	全機種	Fn + F8
FUJITSU	全機種	Fn + F10
GATEWAY	全機種	Fn + F3
IBM	全機種	Fn + F7
NEC	全機種	Fn + F3
Panasonic	全機種	Fn + F3
SHARP	全機種	Fn + F5
SONY	全機種	Fn + F7
SOTEC	全機種	Fn + F3
TOSHIBA	全機種	Fn + F5

注）表の内容は2001年6月現在のものです。

お知らせ

ノートパソコンの液晶画面と本機を同時に表示させた場合、液晶画面は正常に表示されていても投映された映像が正常でない場合があります。その場合はノートパソコンの同時表示をやめ、外部出力のみのモードにしてお試しください。前記の2のような操作をしたり、液晶パネルを閉じたりすると、外部出力のみとなる場合があります。

電源のON/OFF



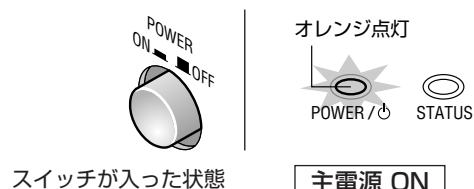
4 主電源のON/OFF

主電源を入れる前に、接続機器の電源が切れていることと、機器の接続が終わっていることをご確認ください。

主電源を入れる

POWERスイッチを押してスイッチを引っ込めると主電源が入ります。
次に各接続機器の主電源を入れてください。

これで、リモコンが使えます。

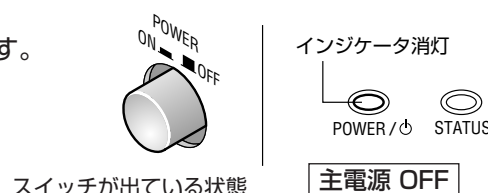


主電源を切る

本体またはリモコンのON/STANDBYボタンでスタンバイ状態にします。

POWER/φ インジケータが点滅中（約60秒）は電源を切らないでください。
オレンジ点灯を確認してから主電源を切ります。

POWERスイッチを押してスイッチを出すと主電源が切れます。



5 電源のON/STANDBY(スタンバイ)

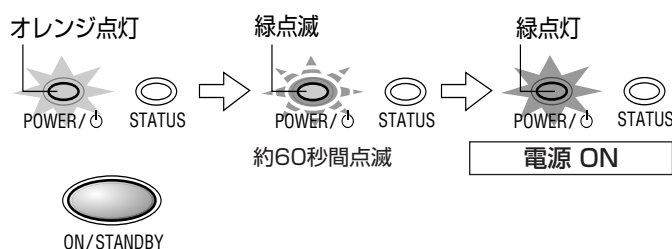
本体とリモコンのON/STANDBYボタンは同じ働きをします。ここでは本体ボタンで説明します。

電源を入れる

ON/STANDBYボタンを長め（約2秒）に押します。
約40秒後に投映画面が明るくなります。

お知らせ

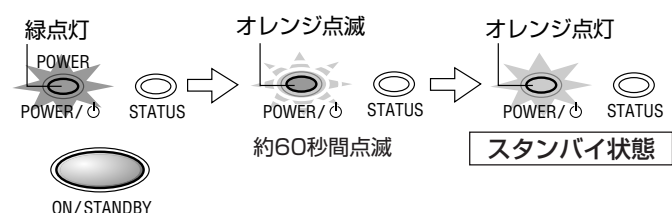
メニューの[設定] → [LED] 項目でOff (LED非表示) に設定しているときは緑が約60秒間点滅後、インジケータは消灯します。



スタンバイ状態にする

ON/STANDBYボタンを長め（約2秒）に押します。

再び電源を入れる場合は60秒以上間をあけてください。



お願い

- POWER/φ インジケータがオレンジ点灯中以外は主電源を切らないでください。ランプの寿命を短くしたり、機器が故障するおそれがあります。また、メニューの[設定] → [LED] の項目でOff (LED非表示) に設定しているときは緑が（約60秒）点滅後、インジケータが消灯しますので、このときも、主電源を切らないでください。
- 使用しないときは節電のため主電源を切ってください。本体やリモコンのON/STANDBYボタンでスタンバイ状態（POWER/φ インジケータがオレンジ点灯中）にしても冷却ファンが動作しています。

お知らせ

- 投映画面が映ったとき、信号が入力されていないと画面上に「No Signal」と表示して知らせます。また、画面の背景色はブルーになります。背景色はメニューの[設定] → [背景] でブラックに変更できます。⇒ 46ページ「背景色の設定」
- 電源を入れたとき、入力選択やアスペクト選択の状態は、切ったときの状態になります。
- 主電源を切っても、電源コードを抜いてもメニュー操作での調整や設定値は記憶しています。

電源が入らないとき

- 内部温度が異常に高いときは機器保護のため電源は入りません。しばらく待ってから電源を入れてください。
- STATUSインジケータが点灯/点滅している場合は52ページ「STATUSインジケータが点灯/点滅しているとき」をご覧ください。

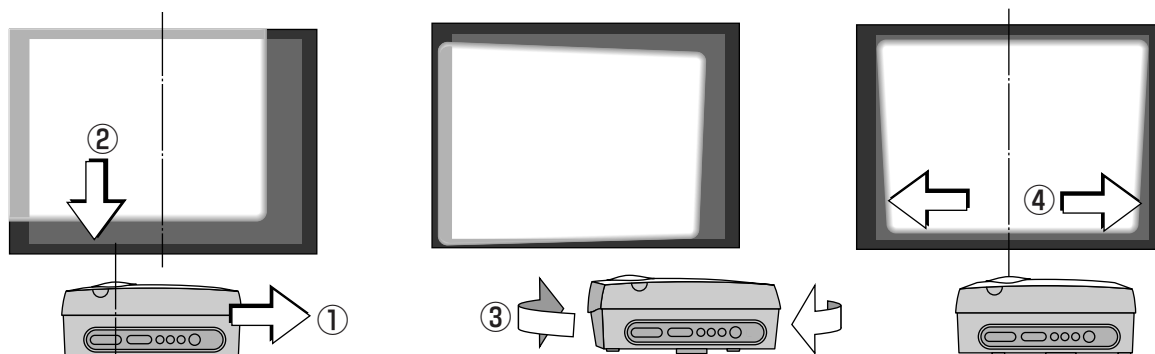
投映画面の調整

- スクリーンに投映した画面位置とフォーカス（焦点）の調整、入力選択とアスペクトの選択です。
- 接続機器の電源を入れ、映像信号を本機へ入力した状態で行ってください。

6 投映画面の位置調整

1 スクリーンに投映画面を合わせる

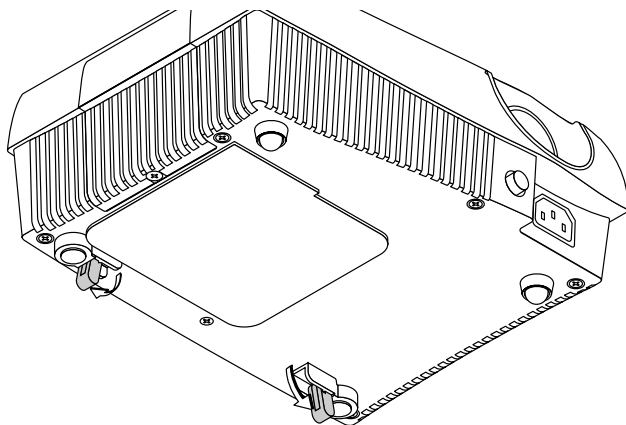
- ① 左右方向にずれている場合は本体を横に移動します。（スクリーンの中心と本体レンズの中心を合わせます。）
- ② 上下方向にずれている場合はアジャスタで上下方向を調整します。
- ③ 図のような投映画面は本体がスクリーンに対して横を向いていますので真っすぐ向けます。
- ④ 台形状に歪んでいる場合はメニュー操作で調整します。⇒ 45ページ「台形歪みの調整」



アジャスタ調整のしかた

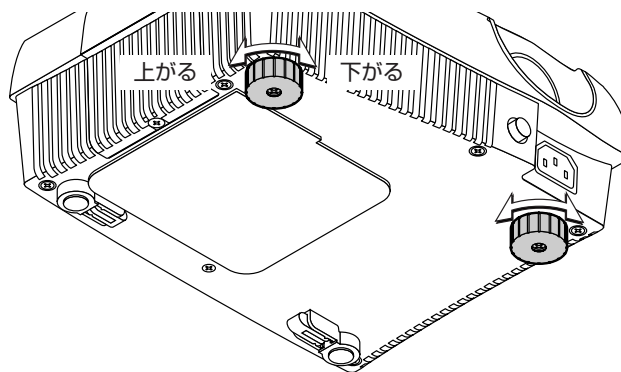
投映位置を下げる場合

後部アジャスタを起こします。



投映位置を上げる場合

付属のアジャスタ2個を前脚に取り付けてください。⇒ 14ページ「付属品アジャスタの取り付けかた」
後部アジャスタを倒した状態にして左右の前部アジャスタを回して調整します。（調整範囲：0～5mm）



7 画面サイズとフォーカスの（焦点）調整

お知らせ

2 ズームリングを回して画面サイズを調整し、フォーカスリングを回して焦点を合わせます。



- ズームリングでは画面サイズを最大約20%の調整ができます。（ズームリングが中間位置にある場合は、約±10%の調整ができますこととなります。）

8 入力選択

3 SOURCEボタンを押して入力信号を選択する



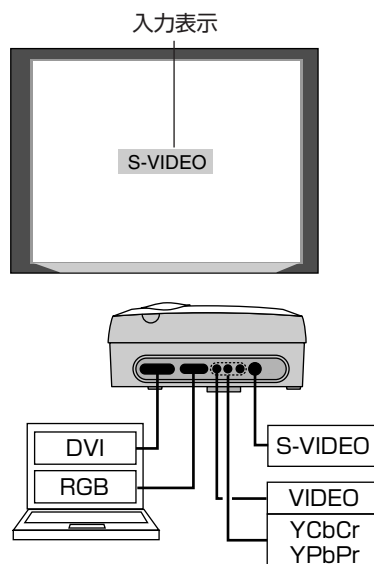
ボタンを押すと選択された入力表示が出ます。

ボタンを押すごとに

S-VIDEO → (VIDEO/YCbCr/YPbPr)
→ RGB → DVI と切り換わります。

「検索中」表示のときは切り換わりません。

入力表示はしばらくすると消えます。表示時間の変更は ➡ 47ページ「オンスクリーン表示時間の設定」



お知らせ

- 電源を入れたときは、切ったときの入力選択状態になります。
- VIDEO/YCbCr/YPbPrの信号はソース選択表示で【AUTO】以外を指定しているときは、指定の信号を検索します。 ➡ 31ページ「入力選択」
- 選択した端子に信号が入力されていないときは「○○○ No Signal」と表示します。
- RGBやDVIを選択した場合、「○○○ No Signal」と表示が出たときは本機のメニューの【情報】でご確認ください。 ➡ 50ページ「ランプ使用時間／解像度、周波数を見る」
周波数が0kHz, 0Hzと表示しているときは、パソコンから信号が出ていません。 ➡ 25ページ「ノートパソコンの外部出力信号を出力するには」をご覧ください。

9 アスペクト比(画面の横と縦の比率)選択

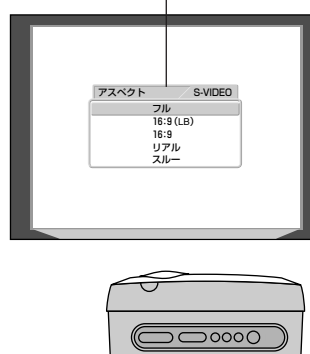
4 ASPECTボタンを押して目的のアスペクト比を選択する



ボタンを押すとアスペクト選択表示が出ます。

アスペクト比とは画面の横と縦の比率をいいます。

アスペクト選択表示



- 信号を入力していないとアスペクト選択表示はできません。接続機器の映像を再生してください。
- 接続機器の映像のアスペクト比と本機の投映画面のアスペクト比を合わせたり、アスペクト16：9の映像を目的に合わせて選択します。
- アスペクト比が異なると、例えば正円が楕円に映ります。
- 各入力ごとのアスペクト選択状態は記憶しています。

【VIDEO, S-VIDEO, YCbCr, YPbPr 入力選択時】

アスペクト	S-VIDEO
フル	
16:9 (LB)	
16:9	
リアル	
スルー	

【RGB, DVI入力選択時】

アスペクト	RGB
フル	
オート	
16:9	
スルー	

カーソル：現在選択されている内容位置を示します。

アスペクト選択表示が出ているときにASPECTボタンを押して選択します。
ボタンを押すごとにカーソルが移動しアスペクト比が切り換わります。

次ページにアスペクトのイメージ図を記載しています。

アスペクト選択表示はしばらくすると消えます。

表示時間の変更は ➡ 47ページ「オンスクリーン表示時間の設定」

- リモコンでの操作は ➡ 30ページ「リモコンで操作する」
- 明るさや映像などを調整・設定するには投映画面上にメニューを出して行います。 ➡ 33ページ「オンスクリーンメニューの使いかた」

これで投映画面の調整が終わりました。

《 入力画面とアスペクト選択画面 》

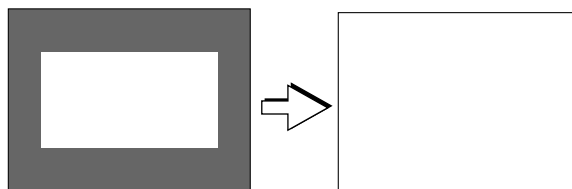
スルー選択時の投映画面

選択時の投映画面

フルを選択

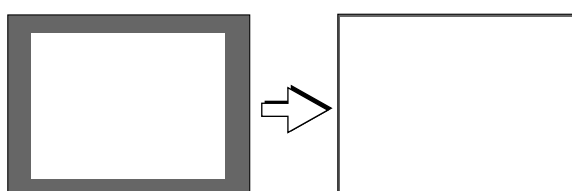
通常のビデオ映像（4：3画面）を映す場合に選択します。

映像を画面一杯に投映します。16：9画面は画像が縦長になります。

**オートを選択**（RGB, DVI 選択のみ）

パソコン映像を画面一杯に投映する場合に選択します。

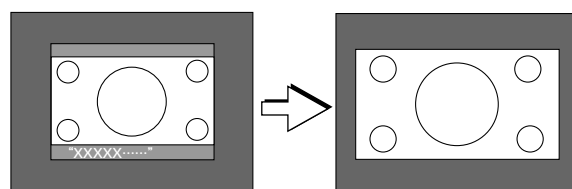
パソコンのアスペクト比を維持したまま画面からはみだす部分がないように拡大または縮小して画面一杯に投映します。16：9画面は上下が黒くなります。

**16：9（LB）を選択**

（S-VIDEO, VIDEO, YCbCr, YPbPrのみ）

横長の映画ソフトの映像部分のみを画面一杯に投映する場合に選択します。

レターボックスのアスペクト比を維持したまま16：9画面で投映します。フルよりも画質がよくなります。

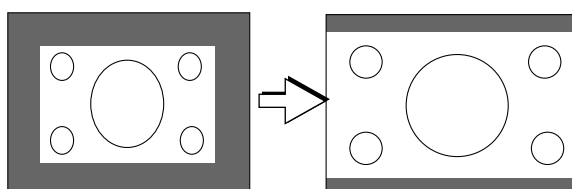


上下の黒い部分はカットされます。なお、映像の外にある字幕スーパーなどもカットされます。

16：9を選択

DVDの映像などを画面一杯に投映する場合に選択します。

スクイーズ画面（横方向につぶした4：3の画面）を16：9画面に戻して投映します。

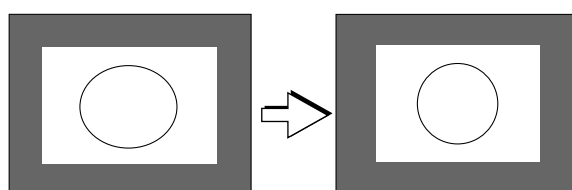


出力サイズは848×480になります。

リアルを選択（S-VIDEO, VIDEO, YCbCr, YPbPrのみ）

ビデオ映像を4：3画面のまま投映する場合に選択します。

ビデオ映像をアスペクト4：3にして投映します。16：9の映像は縦長（4：3）になります。

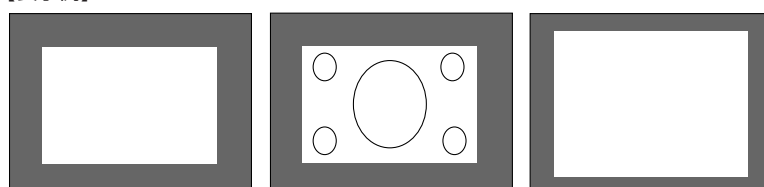
**スルーを選択**

入力映像をそのまま投写する場合に選択します。

入力解像度が本機の解像度（800×600）より大きい場合は画像が画面よりはみ出し、小さい場合は画面より小さく映ります。

ビデオ映像はアスペクト比が異なることがあります。

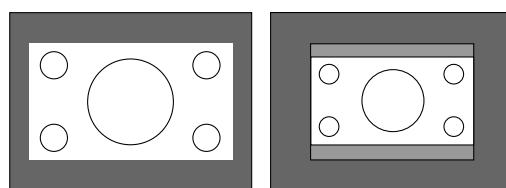
【表示例】



ビデオ信号

スクイーズ信号

VGA 640X480 (4：3)

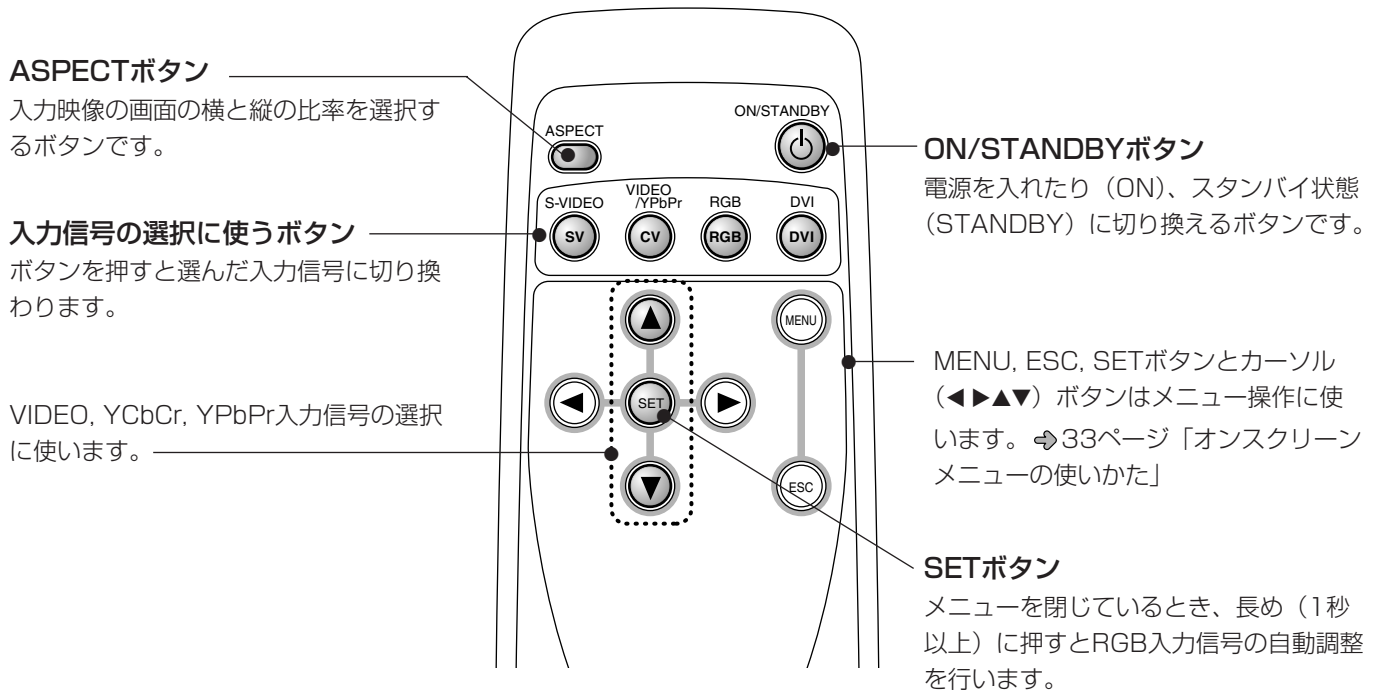


16：9画面

レターボックス

リモコンで操作する

■ リモコンは本体のリモコン受光部に向けて操作してください。



電源のON/STANDBY（スタンバイ）

お知らせ

本体のPOWERボタンを押して主電源を入れてください。

電源を入れる

本体のPOWER/⏻インジケータがオレンジ点灯していることを確認してください。

ON/STANDBYボタンを長め（約2秒）に押します。

ON/STANDBY



電源が入り、緑点滅（約60秒間）後、緑点灯になります。
約40秒後に投映画面が明るくなります。

スタンバイ状態にする

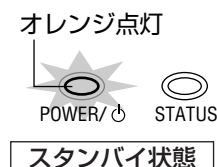
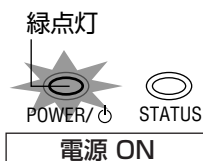
ON/STANDBYボタンを長め（約2秒）に押します。
オレンジ点滅（約60秒間）後、オレンジ点灯になります。

お願い

■ 主電源を切るとき、電源コードを抜くときは

はじめにリモコンまたは本体のON/STANDBYボタンを押してスタンバイ状態（オレンジ点灯）にしてから主電源を切ってください。スタンバイ状態にしないで本体の主電源を切るとランプの寿命を短くしたり、ランプの熱により故障の原因となります。

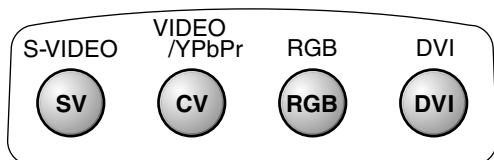
- 使わないときは節電のため主電源を切ってください。このときはオレンジの点滅が点灯に変わるまでお待ちください。
- スタンバイ状態にして再び電源を入れる場合は60秒以上間を空けてください。



入力選択

お知らせ

目的の入力選択ボタンを押します。



S-VIDEOボタン

S-VIDEOの入力信号に切り換わります。

VIDEO/YPbPrボタン

ソース選択表示が出ます。(ソース選択表示が出ていないときは、もう一度ボタンを押してください。)

- 初期設定では [AUTO] が選択されています。SETボタンを押すとソース選択表示が消え、自動でVIDEO/YCbCr/YPbPrの入力信号の検索を始めます。
- [AUTO] 時の入力表示は「Video/YCbCr/YPbPr」になります。

RGBボタン

RGB入力信号に切り換わります。

DVIボタン

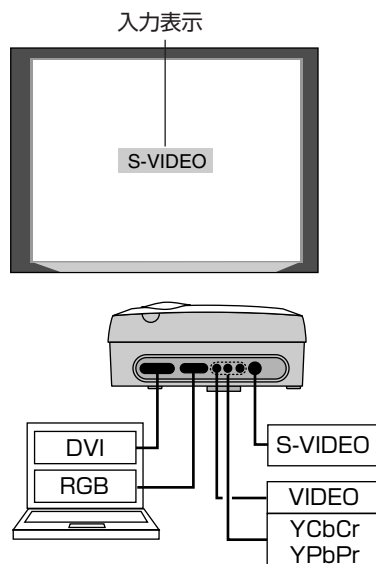
DVI入力信号に切り換わります。

入力表示はしばらくすると消えます。表示時間の変更は ➡ 47ページ「オンスクリーン表示時間の設定」

■ VIDEO/YCbCr/YPbPr 信号選択のしかた
入力信号を直接指定して投映します。

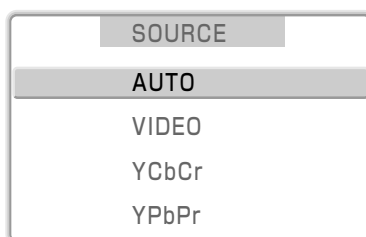
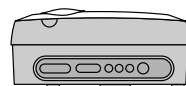
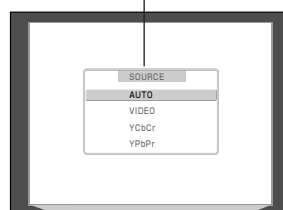
VIDEO/YPbPrボタンを押すと、ソース選択表示が出ます。(ソース選択表示が出ていないときは、もう一度ボタンを押してください。)

カーソル (▲▼) ボタンまたはVIDEO/YPbPrボタンで信号を選択します。
SETボタンを押すとソース選択表示が消えて、指定信号を検索し投映します。



- 電源を入れたときは、前回切ったときの入力選択状態になります。
- 選択した端子に信号が入力されていないときは「○○○ No Signal」と表示します。
- RGBやDVIを選択した場合、「○○○ No Signal」と表示が出たときは本機のメニューの「情報」でご確認ください。 ➡ 50ページ「ランプ使用時間/解像度、周波数を見る」
周波数が0kHz, 0Hzと表示しているときは、パソコンから信号が来ていません。 ➡ 25ページ「ノートパソコンの外部出力信号を出力するには」をご覧ください。

ソース選択表示



- ソース選択を [AUTO] に指定しているとVIDEO/YCbCr/YPbPr信号に切り換えたとき、順次信号の検索を行いますので投映するまでに多少時間がかかります。直接指定しておくことで早く投映することができます。
- 上記とは反対に、例えばYCbCr信号からYPbPr信号に入力信号が切り換わるビデオシステムと接続している場合は、ソース選択を [AUTO] に指定しておくことで、VIDEO/YPbPrボタン（本体ではSOURCEボタン）を再度押すことで、信号の自動判別を行います。

アスペクト比(画面の横と縦の比率)選択

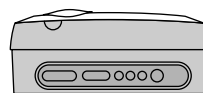
ASPECTボタンを押して目的のアスペクト比を選択する



ボタンを押すとアスペクト選択表示が出ます。

アスペクト比とは画面の横と縦の比率をいいます。

アスペクト選択表示



お知らせ

- 信号を入力していないとアスペクト選択表示はできません。接続機器の映像を再生してください。
- 接続機器の映像のアスペクト比と本機の投映画面のアスペクト比を合わせたり、アスペクト16:9の映像を目的に合わせて選択します。
- アスペクト比が異なると、例えば正円が楕円に映ります。
- 各入力ごとのアスペクト選択状態は記憶しています。

【VIDEO, S-VIDEO, YCbCr, YPbPr 入力選択時】 【RGB, DVI入力選択時】



カーソル：現在選択されている内容位置を示します。

アスペクト選択表示が出ているときにASPECTボタンを押して選択します。ボタンを押すごとにカーソルが移動しアスペクト比が切り換わります。また、カーソル（▲▼）ボタンでも選択できます。

29ページにアスペクトのイメージ図を記載しています。

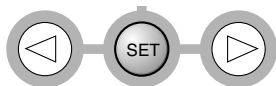
アスペクト選択表示はしばらくすると消えます。

表示時間の変更は ➡ 47ページ「オンスクリーン表示時間の設定」

入力信号を自動調整する

投映している信号を最適な状態に自動調整します。

自動調整に対応しているのは、RGB, DVI, YPbPr (480p) のみです。



SETボタンを長め（1秒以上）に押すと自動調整を開始します。

調整中は画面中央に「AUTO」を表示します。

メニューが表示されているときはメニュー項目の決定ボタンの動作をしますので、ESCボタンを押してメニューを閉じてから行ってください。

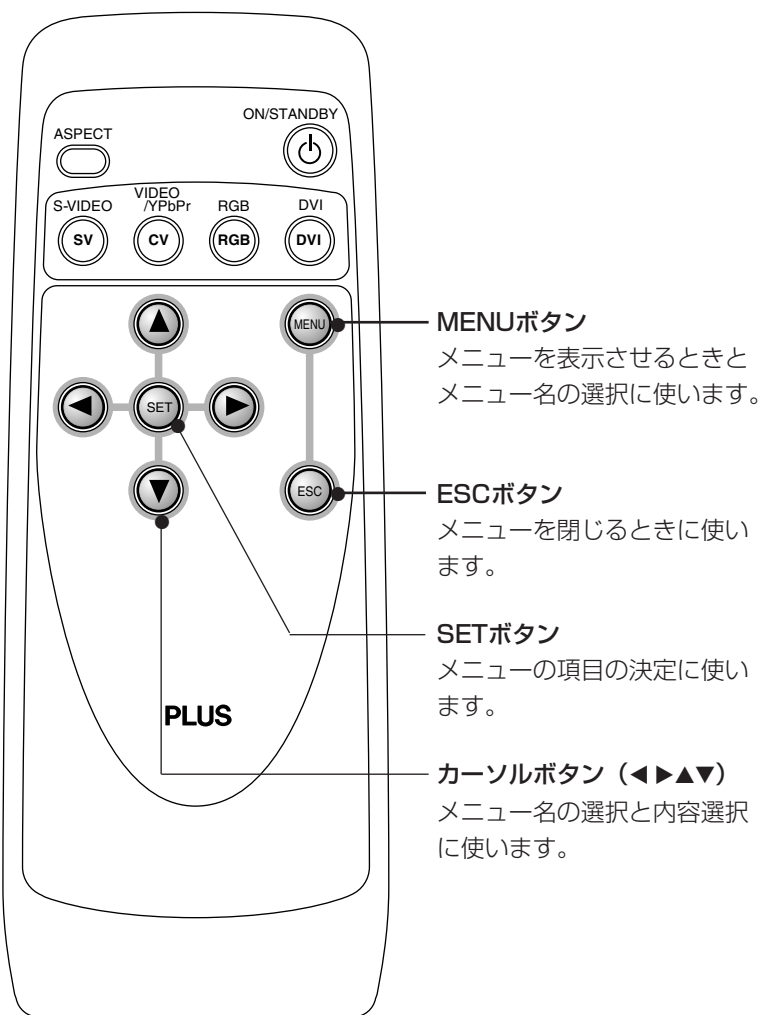
- 画素ずれで発生する縞模様、色ずれやちらつきを自動調整します。SETボタンを押して自動調整しても調整できない場合は手動で行ってください。

➡ 40ページ「入力信号のクロック周波数を調整する」、「入力信号の位相を調整する」

オンスクリーンメニューの使いかた

- ここではメニューの操作方法のみを説明します。
メニュー操作中にわからなくなったらこのページをご覧ください。
- メニューの機能や調整・設定のしかたは各々のページをご覧ください。
- 調整・設定は映像を映して、最適な状態に調整します。
- リモコンはプロジェクタのリモコン受光部に向けて操作してください。
- メニューで変更した色々な項目を標準値（ご購入時の状態）に戻す場合は⇒49ページ「標準設定に戻す」をご覧ください。

メニュー操作で使用するボタンの名称とはたらき



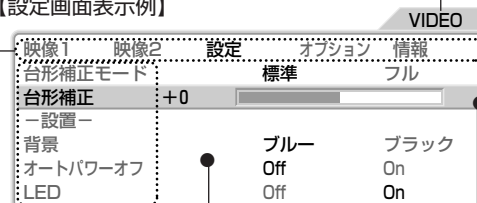
- MENUボタン**
メニューを表示させるときとメニュー名の選択に使用します。
- ESCボタン**
メニューを閉じるときに使用します。
- SETボタン**
メニューの項目の決定に使用します。
- カーソルボタン（上下左右）**
メニュー名の選択と内容選択に使用します。

メニュー画面の名称とはたらき

メニュー名
メニューの見出しです。メニューを選択すると見出しの画面に切り換わります。選択されたメニュー名は青色になります。

入力信号表示
現在選択中の入力信号表示です。

【設定画面表示例】



選択内容
目的の内容を選びます。選択された文字は赤色になります。

項目名
調整・設定の名称です。
選択された項目名は紺色になります。
項目名のみ表示している所はSETボタンを押すと選択内容の画面に変わります。
項目名は、入力選択によって内容が異なります。

カーソル
カーソル位置の項目の調整や設定ができます。
カーソルボタンで移動します。

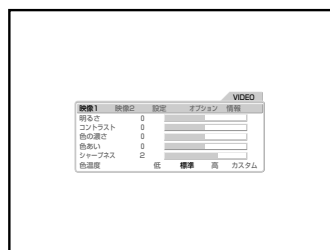
お知らせ

- メニューを表示させ約10秒（初期設定時）リモコン操作をしないと自動的にメニューを閉じます。
表示時間の変更は⇒47ページ「オンスクリーン表示時間の設定」
- メニューの表示位置が移動できます。
⇒47ページ「メニュー表示位置の移動」

メニューの表示

お知らせ

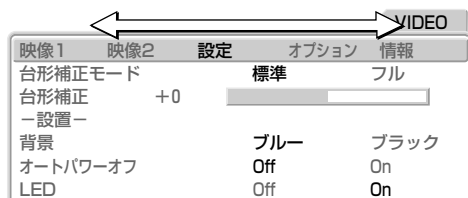
1 MENUボタンを押してメニューを表示させる



メニュー名の選択

2 さらにMENUボタンを押してメニュー名を選択する

選択されたメニュー名は紺色になります。



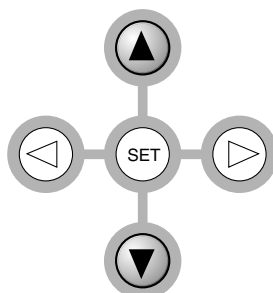
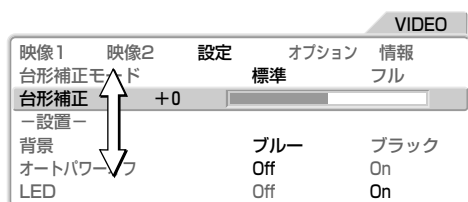
MENU ボタンを押すごとに
[映像1] → [映像2] → [設定]
→ [オプション] → [情報]
とメニュー名が切り換わります。

- カーソル（◀▶）ボタンを押してもメニュー名が切り換わります。
- カーソルボタンでメニュー名を選ぶときはカーソルがメニュー名欄（一番上）にないと選択できません。
- メニュー名にカーソルがない場合、選択されているメニュー名は青色になります。
- メニューに表示される内容一覧は
⇒ 36ページ「メニュー一覧」

項目名を選択

3 カーソル（▲▼）ボタンを押して項目名を選択する

カーソルを目的の項目名に合わせます。選択された項目名は紺色になります。

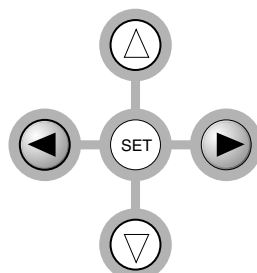
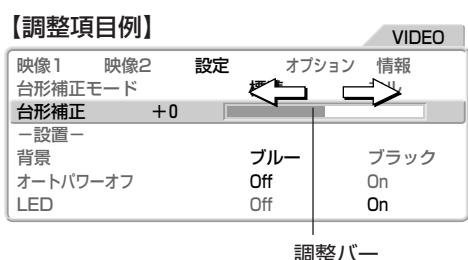


- メニュー名にカーソルがない場合、選択されているメニュー名は青色になります。

調整・設定をする

4 カーソル（◀▶）ボタンを押して調整（または選択）をする

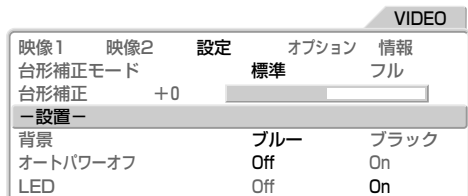
最適な映像に調整（または選択）します。



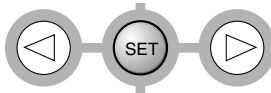
- 調整項目の場合は調整バーの増減と、数値で調整値を表示します。
画面に映っている映像を見ながら最適な映像に調整してください。
- On, Offなど名称を選択する項目は
選択された文字が赤色になります。

サブメニュー項目

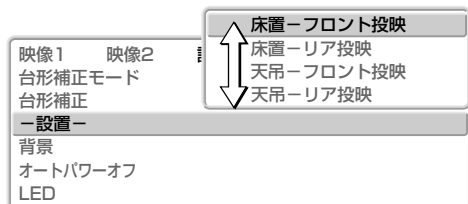
項目名のみ表示している項目はサブメニューがあります。



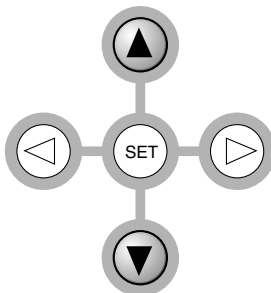
- 1) SETボタンを押してサブメニューを出します。



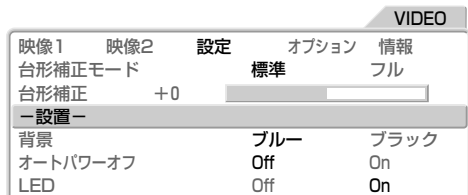
■ サブメニューは項目内容によって選択操作が異なります。



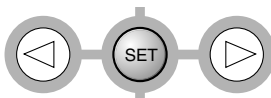
- 2) 設置の場合はカーソル（▲▼）ボタンで選択します。



■ サブメニュー表示中、メニューの項目選択には移れません。次の項目を選択したいときは、ESCボタンを押してメニューを一度閉じてから行ってください。



- 3) SETボタンを押して決定します。サブメニューを閉じます。



終わる

5

ESCボタンを押してメニュー表示を閉じる



■ ESCボタンを押さなくてもしばらくすると（表示時間設定の時間がすぎると）閉じます。
■ 調整・設定値は電源を切っても、コンセントを抜いても記憶しています。

メニュー一覧

■ メニューの項目名の一覧です。調整・設定のしかたは参照ページをご覧ください。

■ 入力選択によって項目名の表示内容が異なります。

調整・設定が可能な入力選択（入力信号）に下記のようなマークを付けています。

各入力可

どの入力を選択しても調整・設定ができます。（メニューに項目名が出ます。）

VIDEO, S-VIDEO, YCbCr

マークに記載の入力選択時のみ調整・設定ができます。（この場合はVIDEOとS-VIDEOそしてYCbCr信号が入力されているときのみ項目名が表示されます。）

映像1

「明るさを調整する」⇒38ページ

「コントラストを調整する」⇒38ページ

「色の濃さを調整する」⇒38ページ

「色あいを調整する」⇒39ページ

「シャープネスを調整する」⇒39ページ

「ホワイトバランスを調整する」⇒39ページ

【VIDEO, S-VIDEO 入力選択時】

VIDEO

映像1	映像2	設定	オプション	情報
明るさ	0			
コントラスト	0			
色の濃さ	0			
色あい	0			
シャープネス	2			
色温度		低 標準 高 カスタム		

【YCbCr 入力選択時】

YCbCr

映像1	映像2	設定	オプション	情報
明るさ	0			
コントラスト	0			
色の濃さ	0			
シャープネス	2			
色温度		低 標準 高 カスタム		

【YPbPr 入力選択時】

YPbPr

映像1	映像2	設定	オプション	情報
明るさ	0			
コントラスト	0			
色あい	0			
クロック周波数	0			
位相	0			
色温度		低 標準 高 カスタム		

【RGB 入力選択時】

RGB

映像1	映像2	設定	オプション	情報
明るさ	0			
コントラスト	0			
クロック周波数	0			
位相	0			
色温度		低 標準 高 カスタム		

「入力信号のクロック周波数を調整する」

⇒40ページ

「入力信号の位相を調整する」⇒40ページ

【DVI 入力選択時】

DVI

映像1	映像2	設定	オプション	情報
明るさ	0			
コントラスト	0			
色温度		低 標準 高 カスタム		

映像2

「ビデオ映像の鮮明度の調整」⇒41ページ

「画面の鮮明度の調整」⇒41ページ

「プロスキャンモードの設定」⇒41ページ

「ガンマ補正の設定」⇒42ページ

「映像信号のカラー方式の設定」⇒43ページ

【VIDEO, S-VIDEO, YCbCr入力選択時】

VIDEO

映像1	映像2	設定	オプション	情報
ビデオフィルタ	2			
ズームフィルタ	3			
プロスキャンモード			ビデオ オート	
ガンマ補正			ビデオ フィルム グラフィックス カスタム	
カラーシステム	オート			

【YPbPr 入力選択時】

YPbPr

映像1	映像2	設定	オプション	情報
ズームフィルタ	3			
—画面移動—				
ガンマ補正		ビデオ	フィルム	グラフィックス
フォーマット		オート		カスタム
カラースペース		オート		

「HDTV, SDTVフォーマットの設定」

⇒ 43ページ

「カラースペースの設定」 ⇒ 43ページ

【RGB, DVI 入力選択時】

RGB

映像1	映像2	設定	オプション	情報
ズームフィルタ	3			
—画面移動—				
ガンマ補正		ビデオ	フィルム	グラフィックス
ホワイトピーク		Off	On	カスタム

「画面表示位置の移動」 ⇒ 42ページ

「ホワイト強調の設定」 ⇒ 44ページ

設定

【各入力共通】

VIDEO

映像1	映像2	設定	オプション	情報
台形補正モード		標準		フル
台形補正	+0			
—設置—				
背景		ブルー		ブラック
オートパワーオフ		Off		On
LED		Off		On

「台形歪みの調整」 ⇒ 45ページ

「スクリーン投映方式の設定」 ⇒ 45ページ

「背景色の設定」 ⇒ 46ページ

「自動スタンバイの設定」 ⇒ 46ページ

「LEDの表示設定」 ⇒ 46ページ

オプション

【各入力共通】

VIDEO

映像1	映像2	設定	オプション	情報
言語		En	De	Fr
—メニュー位置—		It	Es	한
表示時間	10 秒			中日

「オンスクリーン表示言語の設定」 ⇒ 47ページ

「メニュー表示位置の移動」 ⇒ 47ページ

「オンスクリーン表示時間の設定」 ⇒ 47ページ

情報

【VIDEO, S-VIDEO, YCbCr, YPbPr入力選択時】

VIDEO

映像1	映像2	設定	オプション	情報
ユーザメモリ		セーブ		ロード
—初期設定—				
—ランプ使用時間リセット—				

「映像調整のセーブ（登録）とロード（呼出し）」 ⇒ 48ページ

「標準設定に戻す」 ⇒ 49ページ

「ランプの使用時間をリセットする」 ⇒ 49ページ

「ランプ使用時間／解像度、周波数を見る」 ⇒ 50ページ

ステータス：100.500

ランプ使用時間：1時間（トータル 1時間）

【RGB, DVI 入力選択時】

RGB

映像1	映像2	設定	オプション	情報
—初期設定—				
—ランプ使用時間リセット—				

ステータス：100.500

解像度：800 × 600

周波数：H: 37.9 KHz V: 60 Hz

ランプ使用時間：1時間（トータル 1時間）

映像の調整【映像1】

- 映像に関する調整です。
- メニュー操作のしかたは⇒33ページ「オンスクリーンメニューの使いかた」をご覧ください。

VIDEO, S-VIDEO 入力選択時

映像1	映像2	設定	オプション	情報
明るさ	0			
コントラスト	0			
色の濃さ	0			
色あい	0			
シャープネス	2			
色温度		低	標準	高 カスタム

YCbCr 入力選択時

映像1	映像2	設定	オプション	情報
明るさ	0			
コントラスト	0			
色の濃さ	0			
シャープネス	2			
色温度		低	標準	高 カスタム

YPbPr 入力選択時

映像1	映像2	設定	オプション	情報
明るさ	0			
コントラスト	0			
色あい	0			
クロック周波数	0			
位相	0			
色温度		低	標準	高 カスタム

RGB 入力選択時

映像1	映像2	設定	オプション	情報
明るさ	0			
コントラスト	0			
クロック周波数	0			
位相	0			
色温度		低	標準	高 カスタム

DVI 入力選択時

映像1	映像2	設定	オプション	情報
明るさ	0			
コントラスト	0			
色温度		低	標準	高 カスタム

準備 ●映像を投映してください。

- MENUボタンを押してメニューを出し、[映像1]を選んでください。

明るさ

各入力可

お知らせ

■明るさを調整する

明るい部屋、暗い部屋によって映像の明るさがかわります。お好みに調整してください。

カーソル(▲▼)ボタンを押して[明るさ]にカーソルを合わせ、カーソル(◀▶)ボタンで調整します。

- カーソル(◀)ボタン ……暗くなります。
- カーソル(▶)ボタン ……明るくなります。

映像1	映像2	設定	オプション	情報
明るさ	0			
コントラスト	0			
色の濃さ	0			
色あい	0			
シャープネス	2			
色温度		低	標準	高 カスタム

■映像の調整値は各入力別に保存と呼び出しができます。

⇒48ページ「映像調整のセーブ(登録)とロード(呼び出し)」

コントラスト

各入力可

■コントラストを調整する

迫力ある映像、自然な映像の調整に使います。

カーソル(▲▼)ボタンを押して[コントラスト]にカーソルを合わせ、カーソル(◀▶)ボタンで調整します。

- カーソル(◀)ボタン ……画像が淡くなります。
- カーソル(▶)ボタン ……画像が濃くなります。

映像1	映像2	設定	オプション	情報
明るさ	0			
コントラスト	0			
色の濃さ	0			
色あい	0			
シャープネス	2			
色温度		低	標準	高 カスタム

色の濃さ

VIDEO, S-VIDEO, YCbCr

■色の濃さを調整する

迫力ある色彩、自然な色彩の調整に使います。

カーソル(▲▼)ボタンを押して[色の濃さ]にカーソルを合わせ、カーソル(◀▶)ボタンで調整します。

- カーソル(◀)ボタン ……色が淡くなります。
- カーソル(▶)ボタン ……色が濃くなります。

映像1	映像2	設定	オプション	情報
明るさ	0			
コントラスト	0			
色の濃さ	0			
色あい	0			
シャープネス	2			
色温度		低	標準	高 カスタム

色あい

VIDEO, S-VIDEO, YPbPr

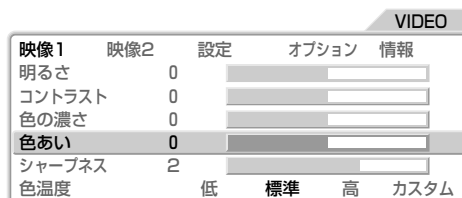
色あいを調整する

肌色などの調整に使います。

カーソル(▲▼)ボタンを押して「色あい」にカーソルを合わせ、カーソル(◀▶)ボタンで調整します。

カーソル(◀)ボタン ……色が赤みがかります。

カーソル(▶)ボタン ……色が緑がかります。



■ PAL, SECAMビデオ入力時は色あいの調整はできません。

シャープネス

VIDEO, S-VIDEO, YCbCr

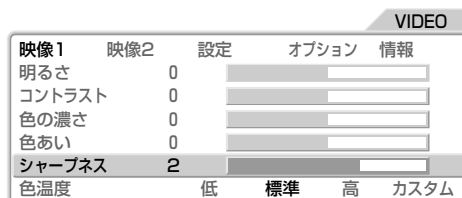
シャープネスを調整する

画像の鮮明度の調整に使います。

カーソル(▲▼)ボタンを押して「シャープネス」にカーソルを合わせ、カーソル(◀▶)ボタンで調整します。

カーソル(◀)ボタン ……やわらかい画像になります。

カーソル(▶)ボタン ……くっきりした画像になります。



色温度

各入力可

ホワイトバランスを調整する

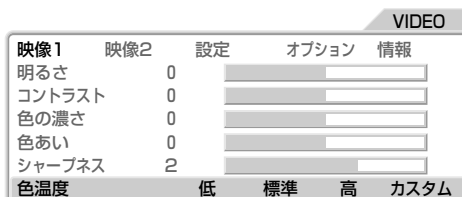
映像のホワイトバランスの調整で、色の再現性を調整します。

カーソル(▲▼)ボタンを押して「色温度」にカーソルを合わせ、カーソル(◀▶)ボタンで選択します。

低 ……暖色系白（黄みがかった白）

標準 ……日光の白

高 ……寒色系の白（青みがかった白）



■ 色温度（ホワイトバランス）とは色表現の基準となるのが白色です。赤、緑、青の光の混合で白色を表現しています。この混合の割合を調整するのが色温度の調整です。部屋の照明など環境によってもスクリーン上の白色表現が変わります。

カスタムでの調整のしかた

カーソル(◀▶)ボタンを押して「カスタム」にカーソルを合わせ、SETボタンを押します。カスタム調整画面が表示されます。カーソル(▲▼)ボタンを押して色を選択し、カーソル(◀▶)ボタンで調整します。

赤、緑、青 各々の明るさを調整します。

調整後、SETボタンを押して決定します。

カスタム調整画面



クロック周波数

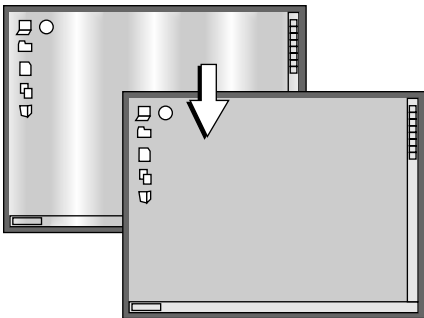
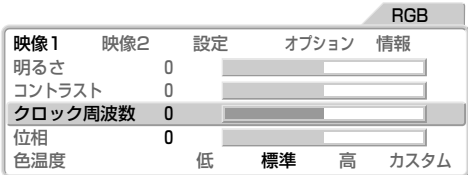
RGB, YPbPr

お知らせ

■入力信号のクロック周波数を調整する

RGB, YPbPr入力信号の投映画面に明暗の縦帯が出ている場合に調整します。
通常は信号選択時に自動調整しますが、自動調整しきれない場合に調整します。

カーソル（▲▼）ボタンを押して「クロック周波数」にカーソルを合わせ、カーソル（◀▶）ボタンで縦帯が取れて、画面の明るさが一定になるように調整します。



- 入力信号と本機の画素位置がずれていると明暗の縞模様が出ます。これを調整するのがクロック周波数の調整です。
- 画像が画面よりはみ出す場合や小さい場合は、「アスペクト」設定が「フル」に設定されていることをご確認ください。⇒ 28,32ページ「アスペクト比（画面の横と縦の比率）選択」

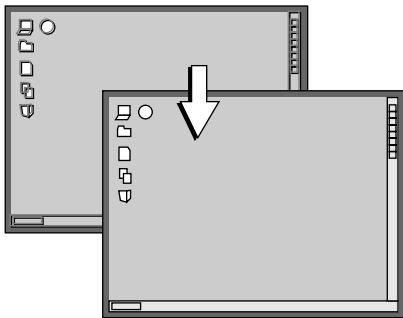
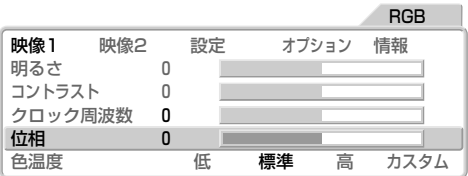
位相

RGB, YPbPr

■入力信号の位相を調整する

RGB, YPbPr入力信号の投映画面に色ずれ、ちらつきが出ている場合に調整します。
通常は信号選択時に自動調整しますが、自動調整しきれない場合に調整します。

カーソル（▲▼）ボタンを押して「位相」にカーソルを合わせ、カーソル（◀▶）ボタンで色ずれやちらつきが目立たなくなるように調整します。



入力映像の調整【映像2】

- 入力された映像信号の調整です。
- メニュー操作のしかたは ➡ 33ページ「オンスクリーンメニューの使いかた」をご覧ください。

VIDEO, S-VIDEO, YCbCr入力選択時

映像1	映像2	設定	オプション	情報
ビデオフィルタ	2			
ズームフィルタ	3			
プロスキャンモード		ビデオ	オート	
ガンマ補正		ビデオ	フィルム	グラフィックス
カラーシステム		オート		カスタム

YPbPr 入力選択時

映像1	映像2	設定	オプション	情報
ズームフィルタ	3			
ズーム移動				
ガンマ補正		ビデオ	フィルム	グラフィックス
フォーマット		オート		
カラースペース		オート		

RGB, DVI 入力選択時

映像1	映像2	設定	オプション	情報
ズームフィルタ	3			
ズーム移動				
ガンマ補正		ビデオ	フィルム	グラフィックス
ホワイトピーク		Off	On	

準備 ●映像を投映してください。

- MENUボタンを押してメニューを出し、[映像2] を選んでください。

ビデオフィルタ

VIDEO, S-VIDEO, YCbCr

お知らせ

ビデオ映像の鮮明度の調整

ざらつきなどを低減させて鮮明な映像にするときに調整します。

カーソル(▲▼)ボタンを押して[ビデオフィルタ]にカーソルを合わせ、カーソル(◀▶)ボタンで調整します。

映像を見ながらお好みに調整してください。

0～4レベル まで調整できます。

VIDEO

映像1	映像2	設定	オプション	情報
ビデオフィルタ	2			
ズームフィルタ	3			
プロスキャンモード		ビデオ	オート	
ガンマ補正		ビデオ	フィルム	グラフィックス
カラーシステム		オート		カスタム

- レベルを上げるほど高解像度に適しています。

ズームフィルタ

各入力可

画面の鮮明度の調整

アスペクト比の選択で画素変換をしたときの映像の鮮明度を調整します。

カーソル(▲▼)ボタンを押して[ズームフィルタ]にカーソルを合わせ、カーソル(◀▶)ボタンで調整します。

映像を見ながらお好みに調整してください。

0 (OFF) ～4レベル まで調整できます。

VIDEO

映像1	映像2	設定	オプション	情報
ビデオフィルタ	2			
ズームフィルタ	3			
プロスキャンモード		ビデオ	オート	
ガンマ補正		ビデオ	フィルム	グラフィックス
カラーシステム		オート		カスタム

- レベルを上げるほどシャープになり、0に近づけばソフトな映像になります。

プロスキャンモード

VIDEO, S-VIDEO, YCbCr

プロスキャンモードの設定

映画の素材に応じて設定します。

カーソル(▲▼)ボタンを押して[プロスキャンモード]にカーソルを合わせ、カーソル(◀▶)ボタンで選択します。

VIDEO

映像1	映像2	設定	オプション	情報
ビデオフィルタ	2			
ズームフィルタ	3			
プロスキャンモード		ビデオ	オート	
ガンマ補正		ビデオ	フィルム	グラフィックス
カラーシステム		オート		カスタム

ビデオ …通常のインターレース信号を想定して、プログレッシブ処理を行います。

オート …入力信号がフィルム素材(24コマ)かビデオ素材(通常のインターレース)かを自動判別してプログレッシブ処理を行います。

準備と予備知識

設置と投映

ふだんの操作

調整と設定

その他

画面移動

YPbPr, RGB, DVI

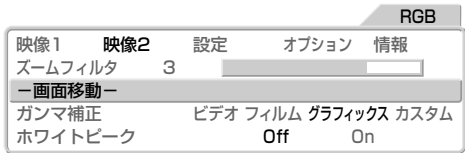
お知らせ

画面表示位置の移動

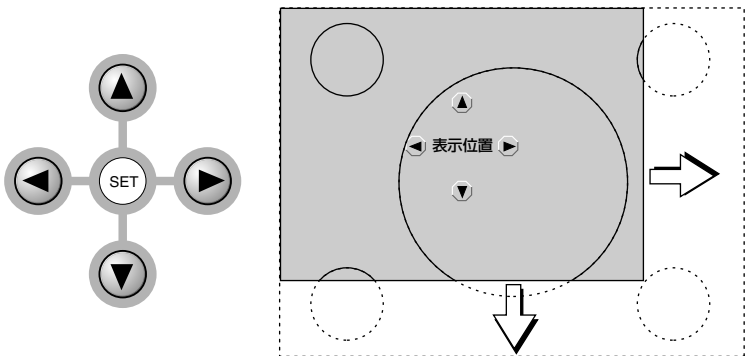
RGB, DVI, YPbPr 入力選択時の画面位置の移動に使用します。

カーソル（▲▼）ボタンを押して「画面移動」にカーソルを合わせ、SETボタンを押します。メニュー表示が閉じてカーソル表示が出ます。

カーソル（◀▶）ボタンで水平方向、カーソル（▲▼）ボタンで垂直方向の画面位置を調整します。



■ 解像度800×600より大きい画面をスルーで表示しているときのみ表示位置の移動ができます。



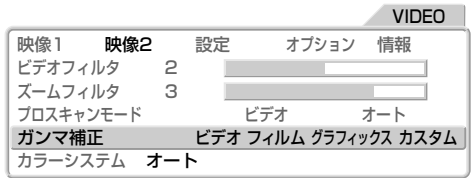
ガンマ補正

各入力可

ガンマ補正の設定

映像の階調の設定です。

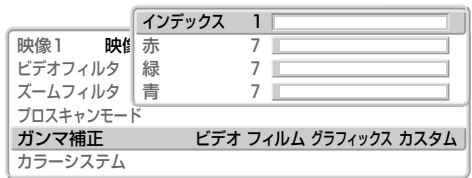
カーソル（▲▼）ボタンを押して「ガンマ補正」にカーソルを合わせ、カーソル（◀▶）ボタンで選択します。



- ビデオ ……………ビデオ信号に適したガンマ調整値です。
- フィルム ……………フィルム映画に適したガンマ調整値です。
- グラフィックス ……パソコン画像などグラフィックスに適したガンマ調整値です。

カスタムでの調整のしかた

お好みのガンマ曲線が作成できます。映像を見ながら行います。カーソル（◀▶）ボタンで「カスタム」を選択し、SETボタンを押し、カスタム調整画面を表示させます。



- カーソル（▲）ボタンを押してカーソルをインデックスに合わせます。
- カーソル（◀▶）ボタンで調整ポイントを選択します。
- カーソル（▲▼）ボタンで調整する色を選択し、カーソル（◀▶）ボタンで調整します。
必要ならば他の調整ポイントも同様に調整します。
- SETボタンを押して決定します。
カスタム調整画面が閉じます。

■ インデックス（1～31）は入力値（0～255）を32等分した調整ポイントです。
調整ポイント間の補正値は自動的に補完されます。

■ 標準定値に戻すには、⇒ 49ページ「標準設定に戻す」
ただし、他の調整・設定もリセットされます。

カラーシステム

VIDEO, S-VIDEO, YCbCr

お知らせ

■映像信号のカラー方式の設定

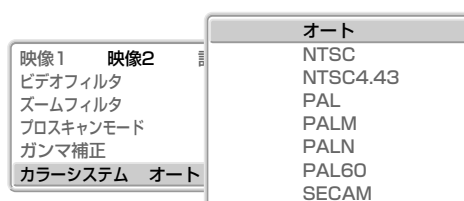
複合ビデオ信号のカラーシステムの設定です。

通常はオートに設定してください。オートで識別できない場合に設定します。

カーソル(▲▼)ボタンを押して[カラーシステム]にカーソルを合わせ、SETボタンを押します。

カラーシステム選択表示が出ます。

カーソル(▲▼)ボタンを押して入力機器の複合ビデオ信号方式に合わせ、SETボタンを押して決定します。



■輝度信号に色信号を付加して映像信号にしている方式を複合ビデオ信号といい、国によって異なります。カラーシステムはこの色信号の方式を設定します。

■PALMはオート識別ができません、マニュアルにて設定してください。

なお、他のカラーシステムもマニュアル設定した場合は、信号が未入力でも「No Signal」の表示はされません。

また、その時の背景色は全てブラックとなります。

フォーマット

YPbPr

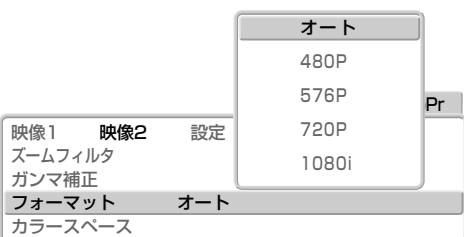
■HDTV, SDTVフォーマットの設定

HDTV, SDTV放送仕様のフォーマットの設定です。通常は[オート]を指定してください。

カーソル(▲▼)ボタンを押して[フォーマット]にカーソルを合わせ、SETボタンを押します。

フォーマット選択表示が出ます。

カーソル(▲▼)ボタンを押して入力信号のフォーマットに合わせ、SETボタンを押して決定します。



■デジタルハイビジョン放送の画質、デジタル標準放送の画質を走査線数で表現しています。末尾の“P”は順次走査（プログレッシブ），“i”は飛び越し走査（インターレース）のことです。

カラースペース

YPbPr

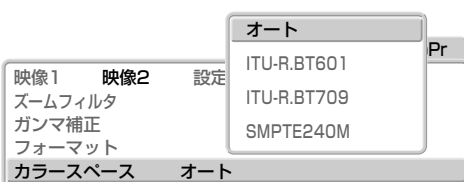
■カラースペースの設定

YPbPr信号を投映したとき、赤っぽい映像、緑っぽい映像のときに設定します。

カーソル(▲▼)ボタンを押して[カラースペース]にカーソルを合わせ、SETボタンを押します。

カラースペース選択表示が出ます。

カーソル(▲▼)ボタンを押して正常な映像になるカラースペースに合わせ、SETボタンを押して決定します。



■YPbPr信号をプロジェクタの映像表現である赤・緑・青色に変換処理する場合、入力信号の色差変換方式に準拠した方式を使用しないと正しい色が再現できません。これを選択するのがカラースペースです。

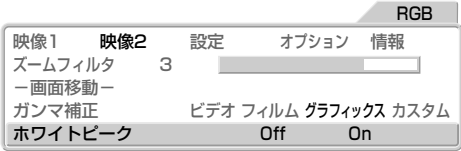
ホワイトピーク

RGB, DVI

■ ホワイト強調の設定

パソコンでの文書や図面など、白を強調して
投映するときに使います。

カーソル（▲ ▼） ボタンを押して［ホワイト
ピーク］にカーソルを合わせ、カーソル（◀
▶） ボタンを押して設定します。



- Off ……ホワイトピーク機能を切ります。
- On ……ハイライトを強調します。

表示設定【設定】

- 本機を設置するときの設定です。
- メニュー操作のしかたは⇒33ページ「オンスクリーンメニューの使いかた」をご覧ください。

準備 ●映像を投映してください。

- MENUボタンを押してメニューを出し、[設定] を選んでください。

VIDEO				
映像1	映像2	設定	オプション	情報
台形補正モード		標準	フル	
台形補正	+0			
—設置—				
背景		ブルー	ブラック	
オートパワーオフ		Off	On	
LED		Off	On	

台形補正モード／台形補正

各入力可

お知らせ

■台形歪みの調整

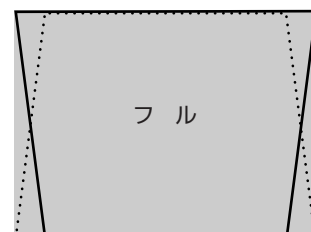
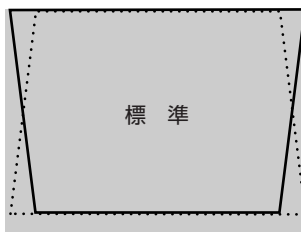
上下方向の台形歪みの調整です。
左右平行に見えるように調整します。

カーソル(▲▼)ボタンを押して[台形補正モード]にカーソルを合わせ、カーソル(◀▶)ボタンを押してモードを選択します。

標準……アスペクト比を維持したまま補正します。

フル……高さ方向を画面のフルサイズまで拡大して補正します。

VIDEO				
映像1	映像2	設定	オプション	情報
台形補正モード		標準	フル	
台形補正	+0			
—設置—				
背景		ブルー	ブラック	
オートパワーオフ		Off	On	
LED		Off	On	



台形歪みの調整をする

カーソル(▼)ボタンを押して[台形補正]にカーソルを合わせ、カーソル(◀▶)ボタンを押して調整します。

VIDEO				
映像1	映像2	設定	オプション	情報
台形補正モード		標準	フル	
台形補正	+0			
—設置—				
背景		ブルー	ブラック	
オートパワーオフ		Off	On	
LED		Off	On	

設置

各入力可

■スクリーン投映方式の設定

スクリーンの正面から投映する、背面から投映するときの設定です。

カーソル(▲▼)ボタンを押して[設置]にカーソルを合わせ、SETボタンを押します。設定画面が表示されます。
カーソル(▲▼)ボタンを押して設置状態を選択し、SETボタンを押して決定します。

- 背面から投映する場合は、透過タイプのスクリーンが必要です。

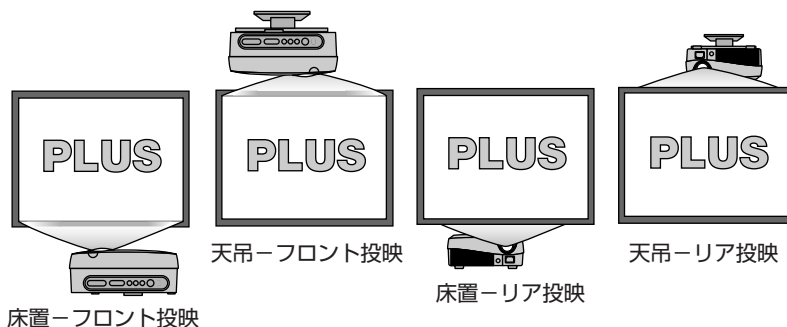
VIDEO				
映像1	映像2	設定	オプション	情報
台形補正モード		標準	フル	
台形補正	+0			
—設置—				
背景		ブルー	ブラック	
オートパワーオフ		Off	On	
LED		Off	On	

床置—フロント投映……
前面から投映します。

床置—リア投映……
背面から投映します。

天吊—フロント投映……
天井に設置し前面から投映します。

天吊—リア投映……
天井に設置し背面から投映します。



準備と予備知識

設置と投映

ふだんの操作

調整と設定

その他

背景

各入力可

お知らせ

■背景色の設定

本機の接続端子に信号が入力されていない場合の背景色の設定です。

カーソル(▲▼)ボタンを押して「背景」にカーソルを合わせ、カーソル(◀▶)ボタンで選択します。

ブルー ……青になります。

ブラック ……黒になります。

映像1	映像2	設定	オプション	情報
台形補正モード			標準	フル
台形補正	+0			
—設置—				
背景		ブルー	ブラック	
オートパワーオフ		Off	On	
LED		Off	On	

- 設定後メニュー表示を閉じると設定した背景色に変わります。

オートパワーオフ

各入力可

■自動スタンバイの設定

本機の接続端子に無信号状態が5分以上続くと自動的に電源をスタンバイ状態にする設定です。

カーソル(▲▼)ボタンを押して「オートパワーオフ」にカーソルを合わせ、カーソル(◀▶)ボタンで選択します。

Off ……動作しません。

On ……動作します。

映像1	映像2	設定	オプション	情報
台形補正モード			標準	フル
台形補正	+0			
—設置—				
背景		ブルー	ブラック	
オートパワーオフ		Off	On	
LED		Off	On	

- 投映画面に「○○ No Signal」の表示が約5分間出ていると自動的にスタンバイ状態になります。ビデオデッキなどには再生が終了するとビデオデッキ側からブルーバックの映像を出力する機器があります。この場合は本機に信号が入っているので動作しません。
- 再び映像を投映する場合はON/STANDBYボタンを押して電源を入れてください。

LED

各入力可

■LEDの表示設定

暗い部屋で投映中、本体のPOWER/φインジケータ(LED)の明りが気になる場合に設定します。

カーソル(▲▼)ボタンを押して「LED」にカーソルを合わせ、カーソル(◀▶)ボタンで選択します。

Off ……LEDが消灯します。

On ……LEDが点灯します。

映像1	映像2	設定	オプション	情報
台形補正モード			標準	フル
台形補正	+0			
—設置—				
背景		ブルー	ブラック	
オートパワーオフ		Off	On	
LED		Off	On	

お願い

この機能を使ってLEDを非表示にし、背景色をブラックに設定しているとスタンバイ状態と間違える場合があります。誤って主電源を切ったり電源コードを抜かないでください。ランプの寿命を縮めたり故障の原因となります。

オンスクリーン表示の設定【オプション】

- 画面に表示されるメニューと言語の設定です。
- メニュー操作のしかたは⇒33ページ「オンスクリーンメニューの使いかた」をご覧ください。



準備 ●MENUボタンを押してメニューを出し、[オプション] を選んでください。

言語

各入力可

お知らせ

■オンスクリーン表示言語の設定

入力切り換え表示やメニュー表示などオンスクリーンに表示する言語の設定です。

カーソル(▲▼)ボタンを押して[言語]にカーソルを合わせ、カーソル(◀▶)ボタンを押して言語を選択します。

En…英語、De…ドイツ語、Fr…フランス語、It…イタリア語、
Es…スペイン語、한…韓国語、中…中国語、日…日本語



- 言語選択しても「No Signal」は英語のままです。

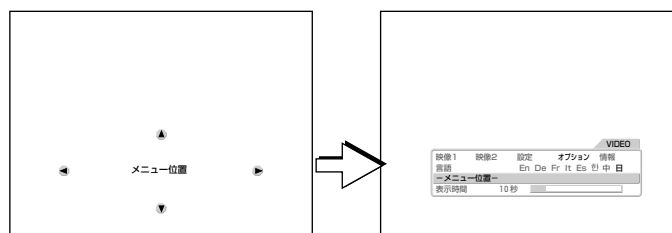
メニュー位置

各入力可

■メニュー表示位置の移動

オンスクリーンメニューの表示位置を変えることができます。

カーソル(▲▼)ボタンを押して[メニュー位置]にカーソルを合わせ、SETボタンを押すとメニュー位置表示に変わります。カーソル(◀▶▲▼)ボタンで目的の位置に[メニュー位置]表示を移動してください。



表示時間

各入力可

■オンスクリーン表示時間の設定

入力切り換え表示やメニュー表示など画面に表示している時間の設定です。

カーソル(▲▼)ボタンを押して[表示時間]にカーソルを合わせ、カーソル(◀▶)ボタンで目的の時間を選択します。
5秒から30秒まで5秒刻みの設定ができます。



リセット・保存・情報【情報】

- ユーザメモリの使いかたや調整・設定の初期設定、ランプ交換後に行うランプ使用時間のリセットと情報の表示です。
- メニュー操作のしかたは⇒33ページ「オンスクリーンメニューの使いかた」をご覧ください。

VIDEO				
映像1	映像2	設定	オプション	情報
ユーザメモリ		セーブ	ロード	
ー初期設定ー				
ーランプ使用時間リセットー				
-----		ステータス: 100.500		
ランプ使用時間:		1時間	(トータル	1時間)

準備 ●MENUボタンを押してメニューを出し、[情報] を選んでください。

ユーザメモリ

各入力可

お知らせ

■映像調整のセーブ(登録)とロード(呼出し)

映像調整・設定値をセーブし必要なときにロードすることができます。
VIDEO, S-VIDEO, YCbCr, YPbPr, RGB, DVI の入力別にセーブができます。

セーブできる項目: メニューの[映像1]と[映像2]の項目

セーブ(登録)をする

- 1 セーブしたい映像を投映し、メニューの[映像1]、[映像2]の項目を調整します。一度メニューを閉じてかまいません。閉じたときはメニューの[情報]を選択してください。
- 2 カーソル(▲▼)ボタンを押して[ユーザメモリ]にカーソルを合わせ、カーソル(◀▶)ボタンを押して[セーブ]を選択し、SETボタンを押します。
- 3 [ユーザメモリをセーブします。]のメッセージをしばらく表示します。
これで、現在の入力モードの映像調整・設定値がセーブ(登録)されました。

VIDEO				
映像1	映像2	設定	オプション	情報
ユーザメモリ		セーブ	ロード	
ー初期設定ー				
ーランプ使用時間リセットー				
-----		ステータス: 100.500		
ランプ使用時間:		1時間	(トータル	1時間)

ユーザメモリをセーブします

- ユーザメモリは、同じ映像調整状態で再び見たい場合に使います。例えば、映画観賞のために細部にわたって最良の調整を行い[セーブ]します。通常使用で調整を変えても、映画を観賞するときは登録された調整値で見ることができます。
- [セーブ]された調整値は主電源を切っても、電源コードを抜いても記憶しています。

- [セーブ]は前の調整値に上書きされます。
- 各入力ごとにセーブできます。ロードはその入力モードでセーブしている調整・設定値がロードされます。

ロード(呼出し)をする

- 1 ロードしたい映像を投映してください。
- 2 カーソル(▲▼)ボタンを押して[ユーザメモリ]にカーソルを合わせ、カーソル(◀▶)ボタンを押して[ロード]を選択し、SETボタンを押します。
- 3 [ユーザメモリをロードします。]のメッセージをしばらく表示します。
これで、ロード(呼出し)された調整・設定値の映像に変わりました。

VIDEO				
映像1	映像2	設定	オプション	情報
ユーザメモリ		セーブ	ロード	
ー初期設定ー				
ーランプ使用時間リセットー				
-----		ステータス: 100.500		
ランプ使用時間:		1時間	(トータル	1時間)

ユーザメモリをロードします

初期設定

各入力可

お知らせ

- 初期設定は入力別に設定できない項目はどの入力信号選択状態の時でも初期設定に戻ります。
- 映像調整を初期設定に戻さない場合は、ユーザメモリをご使用ください。
⇒ 48ページ「映像調整のセーブ（登録）とロード（呼出し）」

標準設定に戻す

現在選択している入力信号の調整・設定を標準に戻す場合に使います。標準に戻したい入力信号を選択してから行ってください。

カーソル（▲▼）ボタンを押して「初期設定」にカーソルを合わせ、SETボタンを押します。「SET」を押すとメニューをリセットします。」のメッセージ表示に変わります。
表示中にSETボタンを押します。

これで標準設定に戻りました。

初期設定されない項目

「オプション」：言語

「情報」：ランプ使用時間、ユーザーメモリ

映像1	映像2	設定	オプション	情報
ユーザメモリ		セーブ		ロード
初期設定				
ランプ使用時間リセット				

ステータス：100.500
ランプ使用時間：1時間（トータル 1時間）

“SET” を押すとメニューをリセットします

ランプ使用時間リセット

各入力可

ランプの使用時間をリセットする

ランプカートリッジを交換したときのリセットです。ランプ使用時間の表示に使いますので必ずリセットしてください。

1 カーソル（▲▼）ボタンを押して「ランプ使用時間リセット」にカーソルを合わせ、SETボタンを押します。
「ランプ使用時間リセット」のメッセージ表示に変わります。

2 表示中に……
カーソル（◀▶）ボタンで Yes を選択し、SETボタンを押します。
「SET」を押すとランプ使用時間をリセットします」のメッセージ表示に変わります。

3 表示中に……
SETボタンを押します。

これでランプ使用時間がリセットされ0時間に設定されました。

映像1	映像2	設定	オプション	情報
ユーザメモリ		セーブ		ロード
初期設定				
ランプ使用時間リセット				

ステータス：100.500
ランプ使用時間：1時間（トータル 1時間）

ランプ使用時間リセット
No Yes

“SET” を押すとランプ使用時間をリセットします

- ランプ使用時間が1,100時間を超えると、プロジェクタを起動することができなくなります。したがってメニュー操作によるランプ使用時間のリセットができません。この場合は、スタンバイ状態で本体の SOURCEボタンと ASPECTボタンを同時に5秒以上押してください。
リセットされると STATUS インジケータが消灯します。

情報

■ランプ使用时间／解像度、周波数を見る

ランプカートリッジ交換時期の確認のための
ランプ使用时间、RGB、DVI入力時の解像度
と周波数の確認に使います。

VIDEO, S-VIDEO, YCbCr, YPbPr入力選択時

VIDEO

映像1	映像2	設定	オプション	情報
ユーザメモリ		セーブ	ロード	
—初期設定—				
—ランプ使用时间リセット—				
-----				ステータス: 100.500
ランプ使用时间:		1時間	(トータル	1時間)

RGB, DVI入力選択時

DVI

映像1	映像2	設定	オプション	情報
—初期設定—				
—ランプ使用时间リセット—				
-----				ステータス: 100.500
解像度:	800	×	600	
周波数:	H: 37.8 KHz		V: 60 Hz	
ランプ使用时间:	1時間	(トータル	1時間)	

お知らせ

■ランプ使用时间のトータルはランプカートリッジを取り替えて、ランプ使用時間をリセットしても解除されません。このトータル時間は工場出荷時から現在までのランプ電源が入っている総時間を示します。

故障かな？と思ったら

■修理を依頼される前に、つぎのことをご確認ください。

このようなとき	確認してください	参照ページ
電源が入らない (POWER/φインジケータが点灯しない)	■ 電源プラグがコンセントから抜けていませんか。 ■ ランプカバーが正しく取り付けられていますか。 ■ 内部温度が高くなっていませんか。内部の温度が異常に高いと保護のため電源は入りません。 ■ ランプ使用時間が1100時間を超えていませんか。1100時間を超えると電源が入らなくなります。	21 51 50 49,53
映像が出ない	■ 接続されている入力を選んでいますか。 ■ 入力端子のケーブルが正しく接続されていますか。 ■ 映像1調整の明るさ、コントラストが最小になっていませんか。 ■ ランプが切れていませんか。 ■ パソコン接続の場合、パソコンから信号が出ていますか。 ■ 本機の対応周波数以外の信号を入力していませんか。 ■ STATUSインジケータが点滅していませんか。	28,31 22~24 38 52,53 25 56 52
映像が歪む	■ 正しく設置されていますか。 ■ 台形歪み調整で正しく合わせていますか。	27 45
映像がぼやける	■ レンズのフォーカスは（焦点）合っていますか。 ■ 投映画面とプロジェクタが正しい角度で設置されていますか。 ■ 投映距離がフォーカスの合う範囲を超えていませんか。 ■ レンズなどが結露していませんか。 気温の低い所に保管しておいて暖かい所で電源を入れるとレンズや内部光学部が結露することがあります。このような場合は結露がなくなるまで数分お待ちください。	27 27 18
映像位置がずれて正常に表示されない	■ 入力信号が対応している解像度、周波数になっていますか。パソコンの解像度をご確認ください。 ■ RGB入力の場合、クロック周波数がずれていませんか。 ■ YPbPr入力の場合、フォーマットの設定が入力信号と異なっていませんか。	56 40 43
映像がつぶれている	■ 映像が横または縦方向につぶれているときや画面一杯に映らない場合はアスペクト比の選択を行ってください。	28,32
映像全体の色がおかしい	■ YPbPr信号を入力している場合、カラースペースの設定が入力信号と異なっていませんか。 ■ VIDEO, S-VIDEO入力の場合、色あいの調整がずれていませんか。	43 39
RGB, YPbPr入力で文字がチラついたり色がずれている	■ 入力信号の位相ずれが考えられます。	40
リモコンが働かない	■ リモコンと本体のリモコン受光部の間に障害物はありませんか。 ■ リモコン信号がとどく範囲を超えていませんか。 ■ 強い光または蛍光灯が受光部のそばにありませんか。 ■ 乾電池が消耗していませんか。本体近くからリモコン受光部に向けて操作してみてください。切り換わりにくい場合は、電池が消耗しています。新しい乾電池と交換してください。	16 16
STATUSインジケータが点灯あるいは点滅する	■ プロジェクタの異常が考えられます。	52
投映中 POWER/φインジケータが消えている	■ LED表示をOffに設定していませんか。	46

準備と予備知識

設置と投映

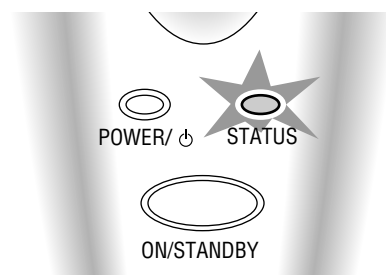
ふだんの操作

調整と設定

その他

STATUSインジケータが点灯／点滅しているときは

本体操作部のSTATUSインジケータ表示が点灯したり点滅しているときは下記の異常を知らせています。



インジケータ表示	プロジェクタの状態	行ってください
消灯	通常動作	
点灯	ランプ交換時期	■ ランプの交換時期です。新しいランプに交換してください。
1秒間隔で点滅 (0.5秒点灯／0.5秒消灯)	カバーが開いています	■ ランプカバーが正しく取り付けられていません。正しく取り付けてください。
4秒に1回の間隔で点滅 (2秒点灯／2秒消灯)	温度エラー	■ 温度プロテクタが作動しています。室温が高い場合は、プロジェクタを涼しい場所へ移動してください。プロジェクタ内部の温度が高い場合は、冷却ファン通風孔を調べて、目詰まりしているときは掃除をしてください。 ■ 温度プロテクタが作動するとスタンバイ状態になり、すぐONにすると、電源が入らないことがあります。その場合は1分間待ってからもう一度ONしてください。
	ランプ点灯電圧異常	■ ランプ点灯電圧異常検出プロテクタが作動しています。そのまま1分以上待って再度電源を入れてもなおらない場合は、弊社「カスタマーセンター」にご相談ください。
8秒に1回の間隔で点滅 (4秒点灯／4秒消灯)	ファン停止	■ 冷却ファンが停止しています。弊社「カスタマーセンター」へ修理を依頼してください。
12秒に1回の間隔で点滅 (6秒点灯／6秒消灯)	ランプ電源エラー	■ ランプが点灯しません。一度、主電源を切ってください。1分以上待ってから主電源を入れ、ONしてください。それでもなおらない場合は弊社「カスタマーセンター」にご相談ください。

■ 温度プロテクタについて

プロジェクタ内部の温度が異常に高くなるとSTATUSインジケータが（4秒間に1回の間隔で）点滅します。同時に温度プロテクタが働いてプロジェクタの電源が切れることがあります。このときは、以下のことを行ってください。

1 電源を切り電源プラグをコンセントから抜きます。

2 次の事項を確認し、必要な処置をしてください。

周囲温度が高い場所に置いて使用しているときは、涼しい場所に設置しなおしてください。

排気孔、吸気孔を調べて、目詰まりしているときは掃除をしてください。

3 プロジェクタの温度が下がるまで、約60分待ってください。

以上のことを行っても解決しないときは、弊社「カスタマーセンター」にご相談ください。

ランプカートリッジの交換

- ランプの使用時間が1,000時間を超えると STATUS インジケータが点灯し、[ランプを交換してください] と画面上に表示されます。
また、1,100時間超えると10秒間 [警告!! システムシャットダウン] の警告表示をします。この場合は、ランプカートリッジの交換時期です。以下の手順にしたがって交換してください。
- ご注文の際は交換用ランプ型名HE-3100L（注文コード 27-050）とご指定ください。

お知らせ

- 本機の光源に使われているランプには寿命があり、定格寿命は約1,000時間です。
なお、ご使用条件などによりランプ寿命が早まる場合があります。
(定格寿命とは、長期間に製造されたランプの、寿命の平均値を言い、当社試験条件によるものです。)

⚠ 注意

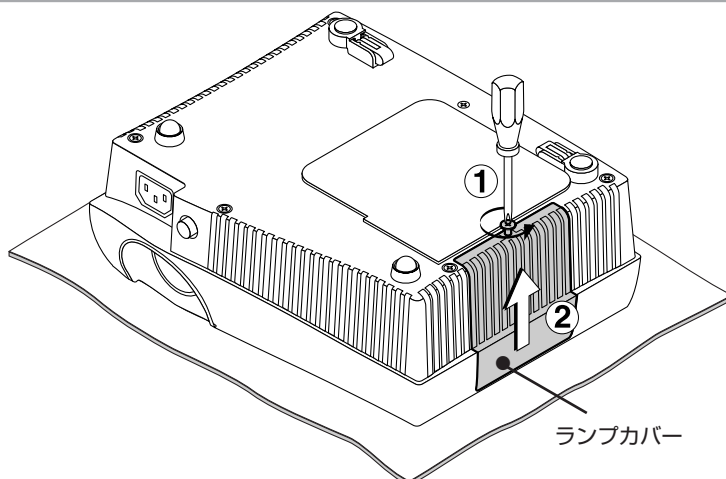
- ランプカートリッジの交換は、電源を切り、POWER/⏻ インジケータがオレンジの点灯に変わったのを確認したあと、本体の POWER スイッチを切り、電源プラグをコンセントから抜いて約60分おいてから行ってください。動作中や停止直後にランプカートリッジを交換すると高温のため、やけどの原因となることがあります。
- 指定のネジ以外は外さないでください。
- プロジェクタの光源には、内部圧力の高い水銀ランプ（以下、高圧水銀ランプ又はランプと言う）を使用しております。取り扱いには十分にご注意ください。
- ランプの使用時間が1000 時間を超えると、本体のSTATUS インジケータが点灯いたします。ランプが正常に点灯している場合でも速やかに新しいランプと交換してください。
- 高圧水銀ランプは衝撃や傷、使用時間の経過による劣化の原因により、不点灯状態となって寿命が尽きたり、大きな音をともなって破裂したりする特性があります。
- ランプカートリッジのガラスの部分を素手で触らないでください。ランプの破裂や寿命が短くなる原因となります。また、ランプは使用条件や個体差によって寿命が異なります。まれにですが、使用後まもなく破裂する事もあります。
- 高圧水銀ランプが破裂したとき、ランプハウスの中にガラスの破片が飛び散りランプ内部のガスがプロジェクタの通風孔を通じ外に漏れる可能性があります。ランプが破裂した際には顔や手などを近づけず、速やかに弊社「カスタマーセンター」(☎ 0120-331-059)にランプの交換と内部の点検を依頼してください。
- 高圧水銀ランプの内部には、水銀等の人体に有害な物質が含まれております。ランプが破裂したときにプロジェクタの近くに顔や手などがあり、万が一ランプから発生したガスを吸い込んだり、体に付着した場合には、速やかに医師にご相談ください。
- プロジェクタのランプは、蛍光灯やハロゲンランプと同じ有害物質（水銀、ハロゲン物質等）を使用しております。ご使用後のランプは、一般的な蛍光灯などと同じ分別方法で廃棄してください。

(準備) 電源コードを外します。交換用ランプとプラスドライバーを用意します。
柔らかい厚手の布などを敷き、プロジェクタ本体を裏返しにして静かに置きます。

ランプカバーを外す

1

- ① ランプカバーのネジを空回りするまでゆるめます。
- ② ランプカバーを外します。



準備と予備知識

設置と投映

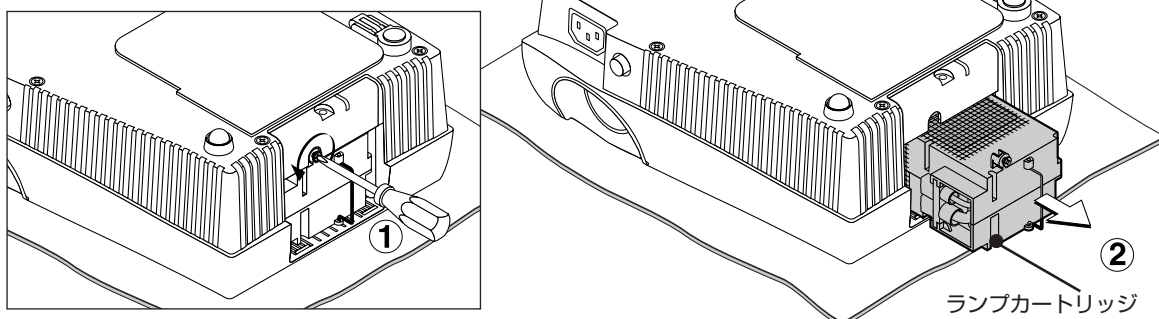
ふだんの操作

調整と設定

その他

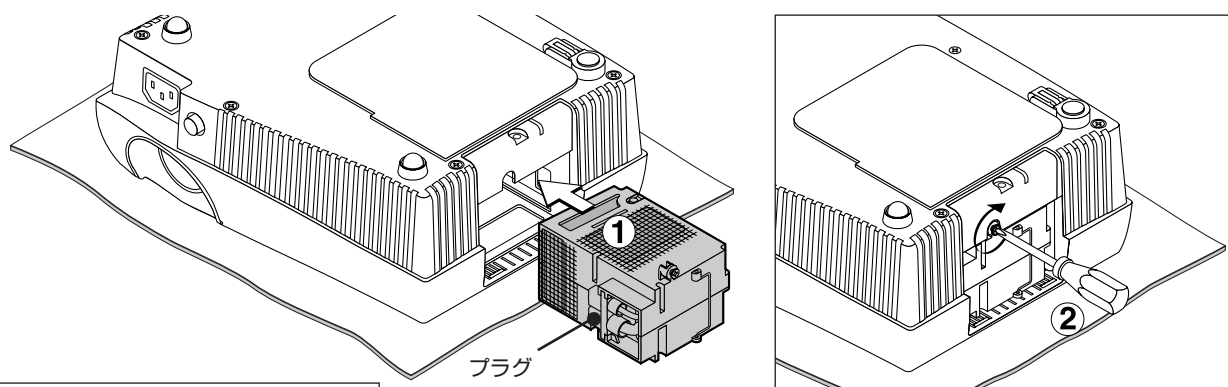
ランプカートリッジを外す

- 2**
- ① ランプカートリッジのネジを空回りするまでゆるめる。
 - ② ランプカートリッジの取っ手をつかみ、手前に引いて取り出します。



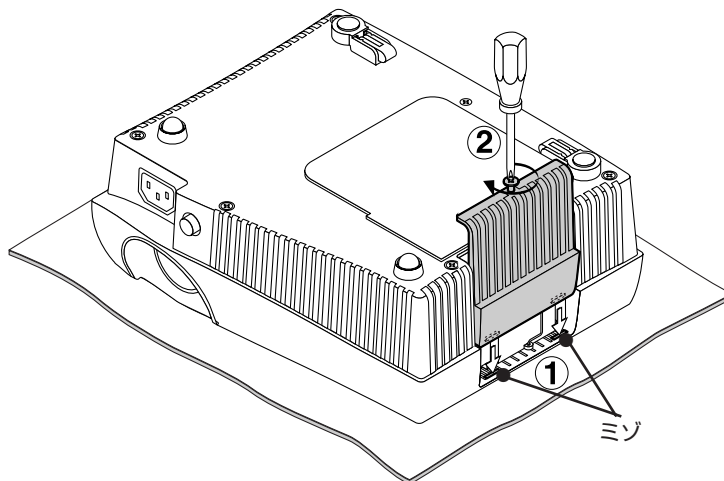
新ランプカートリッジを装着

- 3**
- ① 新しいランプカートリッジを図の向きにして取り付けます。
(このとき、ランプカートリッジのプラグが本体内部のコンセントに差し込まれます。)
 - ② ランプカートリッジのネジをしめます。(ランプカートリッジの取っ手は倒してください。)



ランプカバーを取り付ける

- 4**
- ① ランプカバーのツメを本体のミゾに入れる。
 - ② ランプカバーのネジをしめる。



ランプ使用時間をリセットする

- 5**
- メニューの【情報】→【ランプ使用時間リセット】の項目名を選んで、リセット操作をします。
⇒47ページ「ランプの使用時間をリセットする」

お知らせ

- ランプ使用時間が1,100時間を超えると、プロジェクタを起動することができなくなります。したがってメニュー操作によるランプ使用時間のリセットができません。
この場合は、スタンバイ状態で本体の SOURCE ボタンと ASPECT ボタンを同時に5秒以上押してください。
リセットされると STATUS インジケータが消灯します。

【これでランプ交換が終わりました。】

お手入れについて

お願い

- お手入れの前に必ず電源プラグをコンセントから抜いてください。
- プロジェクタ本体やレンズおよびスクリーンに殺虫剤など揮発性のものをかけたりしないでください。
また、ゴムやビニール製品などを長時間接触させたままにしないでください。変質したり、塗料がはげるなどの原因となります。

■ プロジェクタ本体の汚れは……

- 毛羽立ちのすくない柔らかい乾いた布でふいてください。
汚れのひどいときは、水でうすめた中性洗剤にひたした布をよく絞ってふき取り、乾いた布で仕上げてください。
化学ぞうきんを使用する場合は、その注意書に従ってください。
- シンナーやベンジンなどの溶剤でふかないでください。変質したり、塗料がはげることがあります。
- 排気孔・吸気孔のほこりを取り除く場合は、掃除機のブラシ付きのアダプタを使用して吸い取ってください。なお、アダプタを付けずに直接当てたり、ノズルアダプタを使用することは避けてください。
- プロジェクタ本体を爪や硬いもので強くひっかいたり、当てたりしないでください。傷の原因となります。

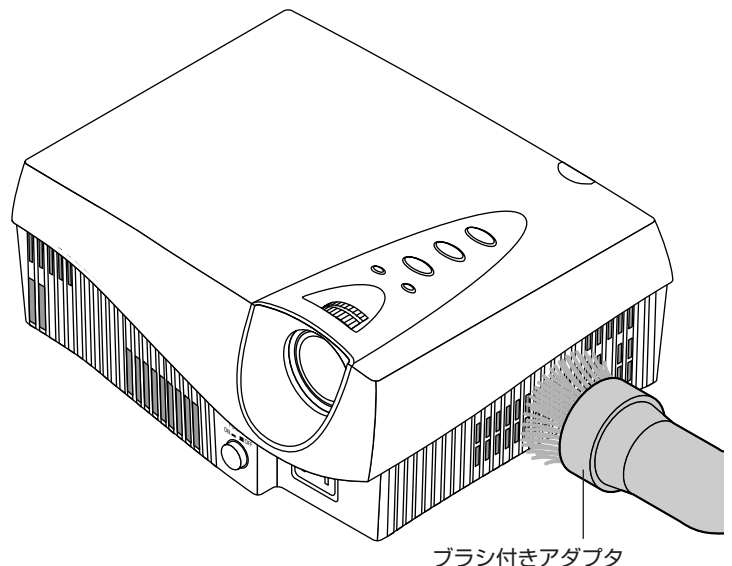
■ レンズのよごれは……

- カメラのレンズと同じ方法で（市販のカメラ用ブローワーやメガネ用クリーニングペーパーを使って）クリーニングしてください。その際レンズを傷つけないようご注意ください。

■ 吸気孔、排気孔のほこりは……

吸気孔、排気孔にほこりがたまると空気の通りが悪くなり、内部の温度が上昇し、故障の原因となりますので、こまめに掃除をしてください。最低でも100時間を目安に掃除をしてください。

- ON/STANDBYボタンで電源を切りPOWER/φインジケータがオレンジ色の点灯に変わったのを確認後、本体のPOWERスイッチで主電源を切り、電源コードを抜いてください。
- 外側から電気掃除機で吸い取ってください。掃除機のブラシ付きのアダプタを使用してください。なお、アダプタを付けずに直接当てたり、ノズルアダプタを使用することは避けてください。



ブラシ付きアダプタ

■ 本体内部の掃除は……

年に1度くらいは本体内部の掃除が必要です。内部にほこりがたまったら、長い間掃除をしないと火災や故障の原因となることがあります。内部の掃除はご自分でせず、必ず弊社「カスタマーセンター」にご相談ください。

対応周波数一覧

本機はパソコンなどからの入力信号を自動で識別し、下表に対応する最適な解像度を選びます。

入力信号によっては調整が必要な場合があります。⇒ 40ページ「入力信号のクロック周波数を調整する」「入力信号の位相を調整する」をご覧ください。

機 種	解像度	走査周波数		対応状況	
		水平 (kHz)	垂直 (Hz)	アナログ	デジタル
VESA	640 × 350	31.5	70.1	○	—
	640 × 350	37.9	85.1	○	—
	720 × 350	31.5	70.0	○	—
	640 × 400	31.5	70.1	○	—
	640 × 400	37.9	85.1	○	—
	720 × 400	31.5	70.0	○	○
	720 × 400	37.9	85.0	○	—
	640 × 480	31.5	60.0	○	○
	640 × 480	37.9	72.8	○	—
	640 × 480	37.5	75.0	○	—
	640 × 480	43.3	85.0	○	—
	800 × 600	35.2	56.3	○	—
	800 × 600	37.9	60.3	○	○
	800 × 600	46.9	75.0	○	—
	800 × 600	48.1	72.2	○	—
	800 × 600	53.7	85.1	○	—
	1024 × 768	48.4	60.0	○	○
	1024 × 768	56.5	70.1	○	—
	1024 × 768	57.7	72.0	○	—
	1024 × 768	60.0	75.0	○	—
	1024 × 768	68.7	85.0	○	—
NEC(PC9800)	640 × 400	24.8	56.4	○	—
	640 × 400	31.5	70.1	○	—
	640 × 480	31.5	60.0	○	—
	640 × 480	37.5	75.0	○	—
	800 × 600	37.9	60.3	○	—
	800 × 600	46.9	75.0	○	—
	1120 × 750	50.0	60.1	○	—
	1024 × 768	56.5	70.1	○	—
	1024 × 768	60.0	75.0	○	—
Apple Macintosh® (MAC 16") (MAC 19") (MAC 21")	640 × 480	35.0	66.7	○	—
	832 × 624	49.7	74.5	○	—
	1024 × 768	60.2	74.9	○	—
	1152 × 870	68.7	75.1	○	—
SUN	1152 × 900	61.8	66.0	○	—
SGI	1024 × 768	49.7	60.4	○	—
	1152 × 900	71.7	76.1	○	—

- 「出荷時プリセット」はその表示解像度／周波数の標準的な信号に合わせていますが、パソコンの種類によっては調整が必要な場合があります。
- コンポジット同期信号、シンクオングリーン同期信号などの場合は、正常に表示できません。

○：対応周波数
—：非対応周波数

仕 様

製品型式名			HE-3200
投映方式			DLP（単板DMD™）方式
主要部品仕様	DMD	サイズ	0.7型
		画素数	508,800画素（848×600）
	投映レンズ		マニュアルズーム（×1.2）、マニュアルフォーカス F=3.0～3.3 f=21.5～25.8 mm
	光源		130W 高圧水銀ランプ
	光学装置		ダイクロイックフィルタによる光時分割合成方式
画面サイズ			最小32型（投映距離 1.2m：テレ時） 最大200型（投映距離 6.4m：ワイド時）
色再現性			フルカラー（1,677万色）
明るさ（ノーマリーホワイト）			450ANSIルーメン
コントラスト比			700：1（フルオン・オフ）
走査周波数			水平：15～85 kHz、垂直：50～85 Hz
調整機能			ズーム、フォーカス（ともにマニュアル）、投映角度、入力信号切替え（S-ビデオ／ビデオ／YCbCr／YPbPr／RGB／DVI）、アスペクト、スタンバイオン／オフ、画面上下左右反転、デジタルキーストーン補正、明るさ、コントラスト、色の濃さ、色相、シャープネス、色温度、ガンマ補正、RGB信号自動位置&位相調整
デジタルRGB入力	信号方式	TMDS（シングルリンクのみ対応）	
	入力端子	DVI-D 24ピン×1	
	RGB信号	VGA（640×480）スルー表示／拡大表示 S-VGA（800×600）スルー表示 XGA（1024×768）スルー表示／圧縮表示	
アナログRGB入力	信号方式	セパレート信号方式	
	映像信号	アナログ：0.7Vp-p／75Ω	
	同期信号	セパレート：TTLレベル（正／負）	
	入力端子	RGBミニD-Sub（15ピン）	
	RGB信号	VGA（640×480）スルー表示／拡大表示 S-VGA（800×600）スルー表示 XGA（1024×768）スルー表示／圧縮表示	
ビデオ入力	信号方式	コンポジット、S-ビデオ、コンポーネント（YCbCr）	
	カラーシステム	NTSC 3.58、NTSC 4.43、PAL、PAL N、PAL M、PAL60、SECAM	
	映像信号	コンポジット：1.0Vp-p／75Ω S-ビデオ：Y信号（1.0Vp-p／75Ω）、C信号（0.286Vp-p／75Ω） コンポーネント：Y信号（1.0Vp-p／75Ω）、Cb、Cr信号（0.7Vp-p／75Ω）	
	入力端子	コンポジット：RCA×1（コンポーネント-Yと兼用） S映像端子：ミニDIN4ピン コンポーネント：RCA×3	
DTV入力	信号方式	コンポーネント（YPbPr）	
	映像信号	Y信号：1.0Vp-p／75Ω、Pb、Pr信号：0.7Vp-p／75Ω	
	入力端子	RCA×3（YCbCrと兼用）	
	DTV入力	480p、576p、720p、1080i	
水平解像度			NTSC：400本以上
使用環境			動作温度：5～35℃ 動作湿度：30～85％（ただし結露しないこと） 保存温度：－10～60℃ 保存湿度：10～85％（ただし結露しないこと）
電源			AC 100V 50／60Hz
定格入力電流			2.0A
消費電力			定格：200W（スタンバイ時18W以下）
外形寸法（突起部含まず）			235（幅）×91（高）×198（奥行）mm（突起部含まず）
質量			約 2.0kg
付属品			ワイヤレスリモコン、乾電池（単三×2）、電源コード（1.8m）、S-ビデオケーブル（3m）、アジャスタ［ネジ付］（2個）、取扱説明書、クイックスタートガイド、ユーザー登録カード、保証書

- この仕様・意匠はお断りなく変更することがあります。
- 本製品の仕様は国内向けです。本体付属の電源コードは国内向けAC100V仕様なので海外では使用できません。日本以外で本製品を使用する場合は、弊社「カスタマーセンター」にご相談ください。また、外国では放送方式が異なりますので、よくお確かめの上ご使用ください。

準備と予備知識

設置と投映

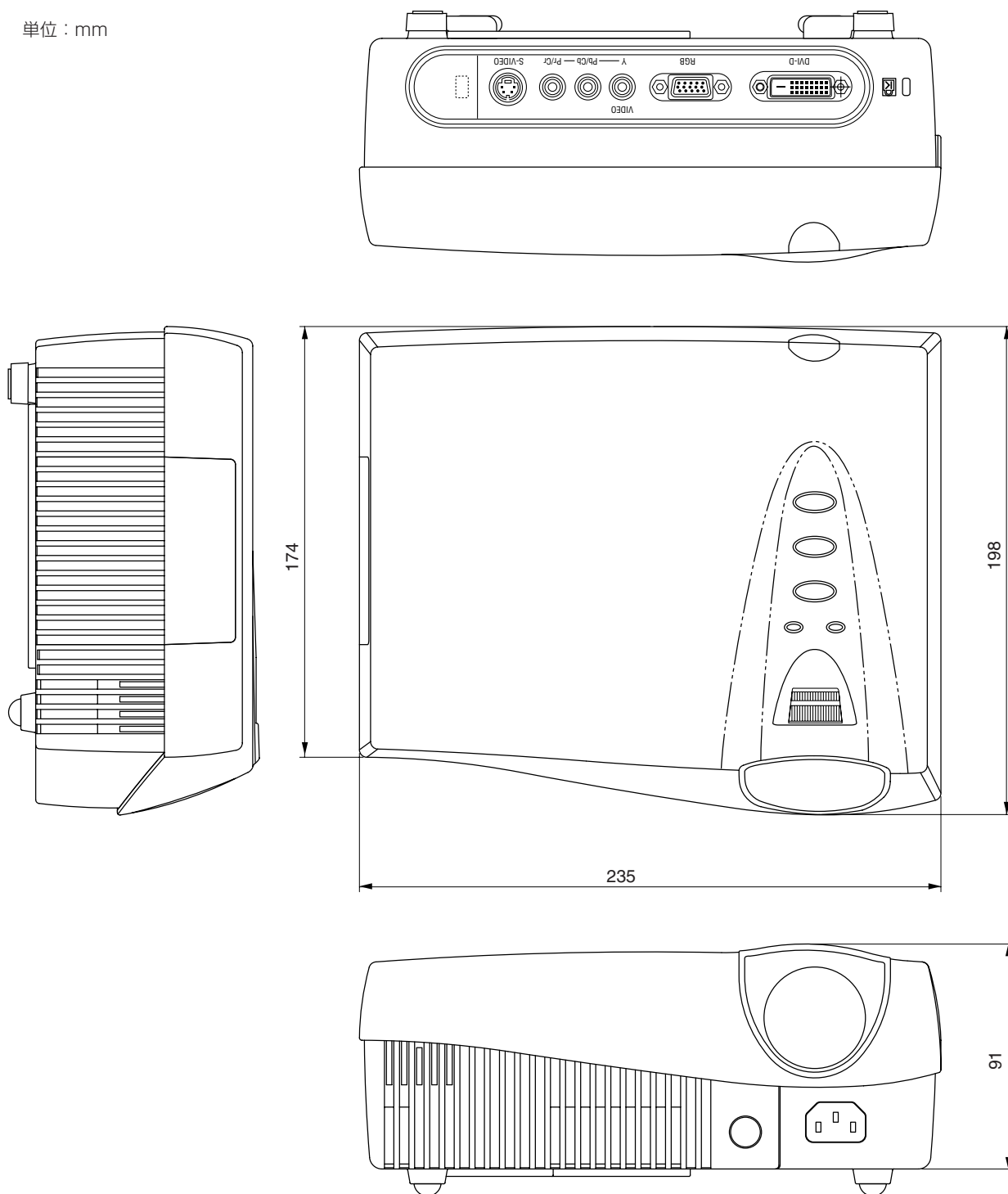
ふだんの操作

調整と設定

その他

本体外形図

単位：mm



アフターサービス

お手持ちの製品が故障した場合には、次の要領で修理させていただきます。弊社「カスタマーセンター」にお申し出ください。なお、保証、使い方などのご不明の点につきましても、裏表紙に記載の弊社「カスタマーセンター」をご利用ください。

無料修理

故障した製品については、ご購入年月日の記入された保証書(ご購入日より1年以内のもの)が添付されている場合には、無料修理させていただきます。その際修理は、保証書に記載されている内容の範囲内に限らせていただきます。詳しくは、保証書に記載されている製品保証規定をご覧ください。

有料修理

保証期間を過ぎた修理は、原則として有料になります。保証期間内であっても、下記の様な場合はすべて有料となります。また運賃諸掛かりは、お客様にご負担願います。

- 1.修理ご依頼の際、保証書の提示または添付のないもの。
- 2.保証書にご購入年月日が記入されていない場合、または字句が書き換えられている場合。
- 3.弊社以外で分解、改造されたもの。
- 4.火災、地震、風水害などの天災による損傷、故障。
- 5.お取り扱い上の不注意(取扱説明書以外の誤操作、落下、衝撃、手掛かり、砂・泥の付着、機内部への水・砂・泥の入り込みなど)、保管上の不備(高温多湿やナフタリン、しょうのうの入った場所での保管)、お手入れの不備(かび発生など)により生じた故障。
- 6.上記以外で弊社の責に帰すことのできない原因により生じた故障。
- 7.各部点検、精密検査、分解掃除などを特別に依頼されたもの。

修理不能

浸(冠)水、強度の衝撃その他で損傷がひどく、故障前の性能に復元できないと思われるもの、および部品の手当が困難なものなどは修理できない場合もありますので、弊社「カスタマーセンター」にお問い合わせください。

補修用性能部品の最低保有期間

弊社は、本プロジェクトの補修用性能部品を製造打切り後、最低8年保有しています。
(性能部品とは、その製品の機能を維持するために必要な部品です。)

修理ご依頼に際してのご注意

- 1.保証規定による修理お申し出になる場合は、必ず保証書を添えてください。
- 2.ご指定の修理箇所、故障内容を詳しくご説明ください。
- 3.修理箇所のご指定がないとき、弊社では各部点検をはじめ品質、性能上必要と思われるすべての箇所を修理しますので、料金が高くなる場合があります。
- 4.修理に関係のない付属物は、紛失などの事故をさけるため、修理品から取りはずしてお手もとに保管してください。
- 5.弊社指定工場修理の場合、ご購入時の外箱に入れて梱包してください。

準備と予備知識

設置と投映

ふだんの操作

調整と設定

その他

PLUS Vision Corp.

プラスビジョン株式会社

〒112-0013 東京都文京区音羽1-20-11
www.plus-vision.com

プラスビジョン カスタマーセンター

TEL ☎ 0120-331-059



NKKKQA
ISO 14001

ISO 14001 認証取得
PLUS本社・PLUSLAND
プラスビジョン入間オフィス/
入間ファクトリー
NQE-9809008A



ISO 9001 認証取得
プラスビジョン入間ファクトリー
12 100 17398 TMS

* プラスビジョン株式会社は、プラスグループの一員として環境マネジメントシステムの国際規格であるISO14001の認証を取得しています。